

平成 27 年度事業報告書

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

基本方針

この法人はその定款に則り、霊長類等に関する調査研究を基盤に、その保護と生息地の保全を行い、社会教育・普及活動や図書等の刊行、標本等の資試料の収集、さらには福祉に配慮した動物園等の設置及び経営等を通じて、学術・教育・文化の発展及び地球社会の調和ある共存に資することを目的とする。

事業概要

〈公益目的事業〉

- (1) 霊長類に関する総合的な調査研究
- (2) 霊長類の保護及びその生息地の保全に関わる活動
- (3) 霊長類に関する環境教育並びに社会普及活動
- (4) 霊長類に関する図書及び学術誌の刊行
- (5) 霊長類の標本等の資試料の収集・管理及び展示
- (6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営
- (7) 霊長類の適切な飼育・展示並びにこれに関する技術的指導及び協力
- (8) 霊長類に関する研究会、講演会の開催
- (9) 霊長類等に関する展示、保全、環境教育及び社会普及活動に関わる人材の育成
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

〈収益事業〉

- (1) 動物園における物品並びに飲食物販事業
- (2) 所有する土地・建物の賃貸事業
- (3) その他動物園等に関連する収益事業

事業報告

〈公益目的事業〉

I 研究活動

1. 霊長類調査研究

- (1) 霊長類の社会行動の研究
- (2) 霊長類の進化に関する研究
- (3) 霊長類の形態学的研究
- (4) 霊長類の生態学的研究
- (5) 霊長類の遺伝学的研究
- (6) 霊長類の保全研究
- (7) 霊長類の福祉に配慮した飼育管理に関する研究
- (8) 霊長類の福祉に配慮した獣医療に関する研究
- (9) 霊長類を中心とした教材開発に関する研究
- (10) 霊長類標本の作成・管理に関する研究並びに研究利用
- (11) 霊長類の生体及び標本を活用した連携研究の推進
- (12) 研究会等の積極的参加による情報の交換と収集
- (13) 霊長類稀少種の繁殖に関する研究
- (14) 市民参加による霊長類をはじめとした生物多様性の保全に関わる基礎研究

2. 外部研究費による研究活動

- (1) 日本学術振興会科学研究費若手研究 B (2013-2015)
代表者：公益財団法人日本モンキーセンター・キュレーター 赤見理恵
課題名：動物園における学習利用促進のための利用者研究と事前学習教材の開発
- (2) 京都大学霊長類研究所共同利用研究
代表者：公益財団法人日本モンキーセンター・飼育技術員 廣川百恵
課題名：遺伝子分析を利用したワオキツネザルの父系判定の研究

3. 他機関との連携

- (1) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) との連携 綿貫宏史朗
- (2) 韓国・国立生態院との 学術交流協定の締結
平成 28 年 3 月 28 日
① 視察訪問・セミナー参加
平成 28 年 3 月 22 日～ 3 月 24 日 伊谷原一、綿貫宏史朗、山田将也
- (3) 環境省生物多様性センター モニタリングサイト 1000 里地調査の実施
S118 犬山地域 (日本モンキーセンター哺乳類調査グループ)
園敷地内にセンサーカメラを設置し、中型哺乳類を中心に撮影

4. 研究業績

(1) 論文他

- 赤見理恵. (2015) 第 31 回日本霊長類学会大会記 自由集会 -6 野生への窓を開く動物園教育. 霊長類研究. 31: 160-162.
- 赤見理恵, 高野智, 南曜子. (2015) 自由連想調査による学習効果の定性的評価の試み. 日本動物園水族館教育研究会誌. 22: 73-78.
- 荒木謙太, 鏡味芳宏, 赤見理恵, 堀込亮意, 木村直人, 伊谷原一. (2015) 動物福祉に配慮したふれあい方法と展示の改善. 22: 5-8.
- Benito-Calvo A, Carvalho S, Arroyo A, Matsuzawa T, de la Torre I. (2015) First GIS analysis of modern stone tools used by wild chimpanzees (*Pan troglodytes verus*) in Bossou, Guinea, West Africa. PLOS ONE 10 (3), e0121613 doi: 10.1371/journal.pone.0121613.
- Carelli FN, Hayakawa T, Go Y, Imai H, Warnefors M, Kaessmann H. (2016) The life history or retrocopies illuminates the evolution of new mammalian genes. Genome Research. 26: 301-314.
- 陳香純, 神田幸司, 上野友香, 友永雅己, 中島定彦. (2015) 遊具導入によるバンドウイルカ (*Tursiops truncatus*) の吐き戻し行動の低減. Animal Behaviour and Management. 51: 87-94.
- Hattori Y, Tomonaga M, Matsuzawa T. (2015) Distractor effect of auditory rhythms on self-paced tapping in chimpanzees and humans. PLoS ONE. 10: e0130682. DOI: 10.1371/journal.pone.0130682.
- Hayakawa T. (2015) Taste of chimpanzee foods. in: Mahale Chimpanzees: 50 Years of Research (Nakamura, M, Hosaka K, Itoh N, Zamma K eds.) pp. 246-258. Cambridge University Press.
- Hockings KJ, Bryson-Morrison N, Carvalho S, Fujisawa M, Humle T, McGrew WC, Nakamura M, Ohashi G, Yamanashi Y, Yamakoshi G, Matsuzawa T. (2015) Tools to tipple: ethanol ingestion by wild chimpanzees using leaf-sponges. Royal Society Open Science 2(6). DOI: 10.1098/rsos.150150
- Hockings KJ, McLennan MR, Carvalho S, Ancrenaz M, Bobe R, Byrne RW, Dunbar RIM, Matsuzawa T, McGrew WC, Williamson EA, Wilson ML, Wood B, Wrangham RW, Hill CM. (2015) Apes in the Anthropocene: flexibility and survival Trends in Ecology & Evolution. 30: 215–222. doi: 10.1016/j.tree.2015.02.002
- 伊谷原一. (2015) 類人猿からみた人間家族. ヒトと動物の関係学会誌. 42: 16–25.
- Kikuchi Y, Nakatsukasa M, Nakano Y, Kunimatsu Y, Shimizu D, Ogihara N, Tsujikawa H, Takano T, Ishida H. (2015) Morphology of thoracolumbar spine of the middle Miocene hominoid *Nacholapithecus kerioi* from northern Kenya. Journal of Human Evolution 88: 25-42.
- Kinoshita K, Kuze N, Kobayashi T, Miyakawa E, Narita H, Inoue-Murayama M, Idani G, Tsenkova R. (2016) Detection of urinary estrogen conjugates and creatinine using near infrared spectroscopy in Bornean orangutans (*Pongo pygmaeus*). Primates. 57: 51-59.
- Koops K, Schöning C, McGrew WC, Matsuzawa T. (2015) Chimpanzees prey on army ants at Seringbara, Nimba Mountains, Guinea: Predation patterns and tool use characteristics. American Journal of Primatology. 77: 319-329 doi: 10.1002/ajp.22347

- Levé M, Sueur C, Petit O, Matsuzawa T, Hirata S. (2016) Social grooming network in captive chimpanzees: does the wild or captive origin of group members affect sociality?. *Primates*. 57: 73-82. DOI 10.1007/s10329-015-0494-y
- Matsuzawa T. (2015) Seventy years after the end of World War II. *Primates*. 56: 105-106.
- Matsuzawa T. (2015) Sumatran orangutans and the World War II. *Primates*. 56: 207-209.
- Matsuzawa T. (2015) Sweet-potato washing revisited: 50th anniversary of the *Primates* article. *Primates*. 56: 285-287.
- Matsuzawa T. (2016) SAGA and GAIN for great apes. *Primates*. 57: 1-2.
- 松沢哲郎, 山極壽一, 伊谷原一. (2015) 京都大学リーディング大学院 PWS の実践の場としての日本モンキーセンター. *ヒマラヤ学誌*. 16: 2-11.
- Nishimura T, Mori F, Hanida S, Kumahata K, Ishikawa S, Samarat K, Miyabe-Nishiwaki T, Hayashi M, Tomonaga M, Suzuki J, Matsuzawa T, Matsuzawa T. (2016) Impaired air conditioning within the nasal cavity in flat-faced *Homo*. *PLOS Computational Biology*. 12(3): e1004807. doi:10.1371/journal.pcbi.1004807.
- 落合知美, 綿貫宏史朗, 鶴殿俊史, 森村成樹, 平田聡, 友永雅己, 伊谷原一, 松沢哲郎. (2015) 日本におけるチンパンジー (*Pan troglodytes*) 飼育の初期の歴史 1920 年ー1950 年. *霊長類研究* 31: 19-29.
- Okamoto M, Imai S, Miyanohara M, Saito W, Momoi Y, Nomura Y, Ikawa T, Ogawa T, Miyabe-Nishiwaki T, Kaneko A, Watanabe A, Watanabe S, Hayashi M, Tomonaga M, Hanada N. (2015) *Streptococcus panodentis* sp. nov., from the oral cavities of chimpanzees. *Microbiology and Immunology*. 59: 526-532. DOI: 10.1111/1348-0421.12290.
- Suzuki-Hashido N, Hayakawa T, Matsui A, Go Y, Ishimaru Y, Misaka T, Abe K, Hirai H, Satta Y, Imai H. (2015) Rapid expansion of phenylthiocarbamide non-tasters among Japanese macaques. *PLOS ONE* 10(7): e0132016.
- Takeuchi JS, Ren F, Yoshikawa R, Yamada E, Nakano Y, Kobayashi T, Matsuda K, Izumi T, Misawa N, Shintaku Y, Wetzel KS, Collman RG, Tanaka H, Hirsch VM, Koyanagi Y, Sato K. (2015) Coevolutionary dynamics between tribe Cercopithecini tetherins and their lentiviruses. *Scientific Report*. 5: 16021.
- Toju H, Yamamoto S, Tanabe AS, Hayakawa T, Ishii HS. (2016) Network modules and hubs in plant-root fungal biome. *Journal of the Royal Society Interface*. 13: 20151097.
- Tomonaga M. (2015). Fat face illusion, or Jastrow illusion with faces, in humans but not in chimpanzees. *i-Perception*. 6(6): 1-5. DOI: 10.1177/2041669515622090.
- Tomonaga M, Imura T. (2015) CHANGE they can't find: Change blindness in chimpanzees during a visual search task. *i-Perception*. 6: 104-107. DOI: 10.1068/i0708sas.
- Tomonaga M, Imura T. (2015) Efficient search for a face by chimpanzees. *Scientific Reports*. 5: 11437. DOI: 10.1038/srep11437.
- Tomonaga M, Kumazaki K, Camus F, Nicod S, Pereir, C, Matsuzawa T. (2015). A horse's eye view: Size and shape discrimination compared with other mammals. *Biology Letters*. 11: 20150701. DOI: 10.1098/rsbl.2015.0701.
- Tomonaga M, Uwano Y, Ogura S, Chin H, Dozaki M, Saito T. (2015) Which person is my trainer? Spontaneous visual discrimination of human individuals by bottlenose dolphins (*Tursiops truncatus*). *SpringerPlus*. 4: 352. DOI: 10.1186/s40064-015-1147-8.

- Yamanashi Y, Teramoto M, Morimura N, Hirata S, Suzuki J, Hayashi M, Kinoshita K, Murayama M, Idani G. (2016) Analysis of hair cortisol levels in captive chimpanzees: effect of various methods on cortisol stability and variability. *MethodsX* 3:110-117.
- Yu L, Tomonaga M. (2015) Interactional synchrony in chimpanzees: Examination through a finger-tapping experiment. *Scientific Reports*. 5: 10218. DOI: 10.1038/srep10218.
- Yu L, Tomonaga M. (2016) Unidirectional adaptation in tempo in pairs of chimpanzees during simultaneous tapping movement: An examination under face-to-face setup. *Primates*. 57: 181-185. DOI:10.1007/s10329-016-0512-8.

(2) 記事

① 松沢哲郎 日本経済新聞「チンパンジーと博士の知の探検」

第1回 「外からの目でヒト探る」	平成27年5月17日
第2回 「『笑い』『ほほ笑み』異なる進化」	平成27年5月24日
第3回 「パリが教える学問の厚み」	平成27年5月31日
第4回 「『森の人』訪ねあの時代思う」	平成27年6月7日
第5回 「スマトラ島と日本の違い」	平成27年6月14日
第6回 「人はなぜ酒を飲めるか」	平成27年6月21日
第7回 「心に残る一度きりの授業」	平成27年6月28日
第8回 「ヒトは助け合える」	平成27年7月5日
第9回 「殺しを命じるのは人だけ」	平成27年7月12日
第10回 「平和な生活愛するボノボ」	平成27年7月19日
第11回 「人間観変える科学の『転回』」	平成27年7月26日
第12回 「野生馬に見た心の動き」	平成27年8月2日
第13回 「初登頂の精神、研究に通ず」	平成27年8月9日
第14回 「ドイツの人類学再生の道」	平成27年8月16日
第15回 「ひっそり暮らす森の哲人」	平成27年8月23日
第16回 「善悪判断科学で語れるか」	平成27年8月30日
第17回 「高水準の学問、国際化生む」	平成27年9月6日
第18回 「幸島のサルに文化の起源」	平成27年9月13日
第19回 「民間に育まれた霊長類学」	平成27年9月20日
第20回 「カメのあくび うつらない」	平成27年9月27日
第21回 「一生見たこと、忘れない」	平成27年10月4日
第22回 「ノーベル賞が伝えること」	平成27年10月18日
第23回 「活動記録から自分を知る」	平成27年10月25日
第24回 「ブータンが目指したこと」	平成27年11月1日
第25回 「親と離せば子育て不能に」	平成27年11月8日
第26回 「人と馬とオオカミの生態系」	平成27年11月15日
第27回 「韓国から日本の姿思う」	平成27年11月22日
第28回 「障害児育てるチンパンジー」	平成27年11月29日
第29回 「中国 霊長類学の芽吹き」	平成27年12月6日
第30回 「亜熱帯 西表島の自然見る」	平成27年12月13日
第31回 「馬の目が見る世界の形」	平成27年12月20日
第32回 「勃興 インドの学際研究」	平成27年12月27日

第 33 回 「草の冠かぶった子の学び」	平成 28 年 1 月 3 日
第 34 回 「助け合い子育てする人間」	平成 28 年 1 月 10 日
第 35 回 「元旦にニンバ山に登る」	平成 28 年 1 月 17 日
第 36 回 「危機迫るボッソウの群れ」	平成 28 年 1 月 24 日
第 37 回 「巨木伐採 多様性の根奪う」	平成 28 年 1 月 31 日
第 38 回 「人間を知るための『ウマ学』」	平成 28 年 2 月 7 日
第 39 回 「ヒマラヤ生態系 解明は未踏」	平成 28 年 2 月 14 日
第 40 回 「足跡が語る人類の進化」	平成 28 年 2 月 21 日
第 41 回 「あおむけ寝が進化育む」	平成 28 年 2 月 28 日
第 42 回 「推論 人間の言語の本質」	平成 28 年 3 月 6 日
第 43 回 「瞬間記憶と言語の発達」	平成 28 年 3 月 13 日
第 44 回 「弁証法で開く新たな科学」	平成 28 年 3 月 20 日
第 45 回 「科学の志 高校生に育む」	平成 28 年 3 月 27 日

② 山極壽一 毎日新聞「時代の風」

「談論風発」	平成 27 年 4 月 3 日
「不在を許す心」	平成 27 年 5 月 10 日
「アートとサイエンス」	平成 27 年 6 月 14 日
「インターネット講義『MOCC』」	平成 27 年 7 月 19 日
「大学を探検する」	平成 27 年 8 月 23 日
「都市と故郷」	平成 27 年 9 月 27 日
「あらしのよるに」	平成 27 年 11 月 1 日
「現代の住まい」	平成 27 年 12 月 6 日
「新しい知の共有」	平成 28 年 1 月 17 日
「留学生と学術外交」	平成 28 年 2 月 21 日
「ゴリラから教わったこと」	平成 28 年 3 月 27 日

③ 岩波書店『科学』 連載「ちびっこチンパンジーと仲間たち」

- 村松明穂, 松沢哲郎. (2015) アユムたちの数の勉強 0 から 19 までと基数の学習 (第 160 回). 科学. 85: 372-373.
- 川上文人, 林美里, 友永雅己. (2015) チンパンジーに学ぶヒトの笑顔の意味 (第 162 回). 科学. 85: 606-607.
- 森村成樹, 松沢哲郎. (2015) カメラトラップーチンパンジーを見守る“目”. 科学. 85: 796-797.
- 綿貫宏史朗, 落合知美, 岩原真利, 平田聡, 森村成樹, 友永雅己, 伊谷原一, 松沢哲郎. (2015) データベースから考える、チンパンジーの幸せな暮らし. 科学. 85: 1108-1109.
- 打越万喜子. (2015) フクロテナガザルの人工哺育児を親元に戻す (第 168 回). 科学. 85: 1184-1185.
- 友永雅己. (2016) ウマの目からの眺め (第 170 回). 科学. 86: 164-165.
- 松沢哲郎. (2016) カメルーンからギニアへ — 狩猟採集民と野生チンパンジーの暮らしの比較 (第 171 回). 科学. 86: 212-213.

④ 木村直人 中日新聞「愛ラブ自然」

「闇夜に素早い動作「ポト」(ポト)」	平成 27 年 4 月 1 日
「希少サルのペア見守って (ハヌマンラングール)」	平成 27 年 6 月 10 日
「一人遊び始めた「マモル」(チンパンジー)」	平成 27 年 8 月 26 日
「テナガザル保護考えて (シロテテナガザル)」	平成 27 年 11 月 11 日
「たき火にあたるサル人気 (ヤクニホンザル)」	平成 28 年 1 月 20 日
「リスザルの島に散策路 (ボリビアリスザル)」	平成 28 年 3 月 23 日

(3) その他執筆

赤見理恵. (2015) サルたちの ”種の誇り” 「新世界ザル アマゾンの熱帯雨林に野生の生きざまを追う」伊沢紘生著, 山と溪谷. 2015(4): 196.

赤見理恵. (2015) サルとは何か? - 多様性とその進化 -. 地球に生きる神秘的なサル, 池田書店. pp. 2-3.

伊谷原一. (2015) 大型類人猿解説. 前川貴行写真集 ”Great Apes” ー森に住む人々, 小学館. pp. 98-99.

坂田省吾, 友永雅己, 村上郁也. (2015) 特集「時間認知の解明への学際的アプローチ」巻頭言. 基礎心理学研究. 34: 1.

高野智. (2015) 地球上に生きるサルたちのゆくえ. 地球に生きる神秘的なサル, 池田書店. pp. 122-123.

高野智. (2015) ニホンザルと人の関わり - 同じ列島にくらすものとして -. 東京新聞・中日新聞サンデー版, 世界と日本 大図解シリーズ No.1231 (2015 年 12 月 27 日).

友永雅己. (2015) 写真やテレビはどう見える? 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp. 53-56.

友永雅己. (2015) 顔はどんなふうに見える? 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp. 57-61.

友永雅己. (2015) ものの数はどれくらいわかる? 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp.134-138.

友永雅己. (2015) 動物って子どもの教育に熱心なの? 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp. 196-199.

友永雅己. (2015) 仲間の見分けはどうやって? 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp. 200-204.

友永雅己. (2015) あなたはだあれ? 鏡に映った自分の姿. 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp. 248-251.

友永雅己. (2015) 我慢はできる? 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp. 252-255.

友永雅己, 茂木一孝. (2015) 赤ちゃんから大人へ 心の発達. 日本動物心理学会 (監修), 藤田和生 (編著) 動物たちは何を考えている? 動物心理学の挑戦 (知りたいサイエンス), 技術評論社. pp. 119-124.

(4) 書籍の監修

① 地球に生きる神秘的なサル (池田書店) 平成 27 年 11 月 30 日発行

② さる さる さる み〜んなさる!

(サンチャイルド ビッグサイエンス 2016 年 1 月号) (チャイルド本社)

平成 28 年 1 月 1 日発行

II 学会および研究会

1. 学会参加

(1) Association for Chemoreception Science 32th Annual Meeting

日程: 平成 27 年 4 月 22 日~ 4 月 25 日

会場: Hyatt Regency Coconut Point (アメリカ、フロリダ州)

早川卓志

(2) 日本アフリカ学会第 52 回学術大会

日程: 平成 27 年 5 月 23 日~ 5 月 24 日

会場: 犬山国際観光センター「フロイデ」(愛知県犬山市)

伊谷原一、高野智、赤見理恵、新宅勇太、江藤彩子

(3) NCS 現場の会 第 4 回研究会

日程: 平成 27 年 7 月 1 日~ 7 月 3 日

会場: つくば国際会議場 (茨城県つくば市)

早川卓志

(4) 第 23 回希少動物人工繁殖研究会

日程: 平成 27 年 7 月 4 日~ 7 月 6 日

会場: 神戸市立王子動物園 (兵庫県神戸市)

綿貫宏史朗

(5) 第 31 回日本霊長類学会大会

日程: 平成 27 年 7 月 18 日~ 7 月 20 日

会場: 京都大学 (京都府京都市)

高野智、赤見理恵、新宅勇太、綿貫宏史朗、

早川卓志、古賀典子、奥村文彦、廣川百恵

(6) The 4th International Symposium on Primatology and Wildlife Science

(PWS Interim Symposium): Toward the Asian Federation for Primatology

日程: 平成 27 年 7 月 21 日~ 7 月 22 日

会場: 京都大学 (京都府京都市)

新宅勇太、綿貫宏史朗、早川卓志、古賀典子、廣澤麻里

(7) 第 21 回日本野生動物医学会大会

日程: 平成 27 年 7 月 31 日~ 8 月 2 日

会場: 酪農学園大学 (北海道江別市)

綿貫宏史朗

(8) 日本進化学会第 17 回大会

日程: 平成 27 年 8 月 20 日~ 23 日

会場: 中央大学 (東京都文教区)

早川卓志

(9) 平成 27 年度日本学術振興会育志賞研究発表会

日程：平成 27 年 8 月 31 日

会場：京都大学（京都府京都市）

早川卓志

(10) マハレ 50 周年記念展・公開シンポジウム「野生チンパンジー学の 50 年」

日程：平成 27 年 9 月 19 日

会場：東京大学（東京都文京区）

早川卓志

(11) 第 63 回全国動物園技術者研究会

日程：平成 27 年 9 月 21 日～9 月 23 日

会場：オークラ千葉ホテル（千葉県千葉市）、千葉市動物公園（千葉県千葉市）

伊谷原一、新宅勇太、綿貫宏史朗、鏡味芳宏、寺尾由美子、今井由香

(12) 屋久島学ソサエティ第 3 回大会

日程：平成 27 年 11 月 5 日～11 月 8 日

会場：屋久島離島開発総合センター（鹿児島県屋久島町）

新宅勇太、早川卓志、荒木謙太、中尾汐莉

(13) 第 18 回アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い（SAGA シンポジウム）

日程：平成 27 年 11 月 14 日～11 月 15 日

会場：京都市動物園（京都府京都市）

赤見理恵、綿貫宏史朗、早川卓志、星野智紀、奥村文彦、
中尾汐莉、山田将也、石田崇斗、杉浦直樹

(14) 第 56 回日本動物園水族館教育研究会沖縄大会

日程：平成 27 年 11 月 27 日～28 日

会場：沖縄こどもの国（沖縄県沖縄市）

高野智、赤見理恵、荒木謙太

(15) 2015 年度勇魚会シンポジウム

日程：平成 27 年 11 月 28 日～29 日

会場：日本大学（神奈川県藤沢市）

早川卓志

(16) 第 22 回動物園水族館獣医師臨床研究会

日程：平成 28 年 2 月 17 日～18 日

会場：山口県山口市

岡部直樹

(17) The 5th International Symposium on Primatology and Wildlife Science

日程：平成 28 年 3 月 3 日～3 月 6 日

会場：犬山国際観光センター「フロイデ」（愛知県犬山市）

高野智、赤見理恵、新宅勇太、綿貫宏史朗、早川卓志、古賀典子、
江藤彩子、廣澤麻里、寺尾由美子、田中ちぐさ、奥村太基

2. 研究会の開催

(1) 第 60 回プリマーテス研究会の開催

日程：平成 28 年 1 月 30 日・1 月 31 日

参加者：107 名（所員含む）

演題：口頭発表 25 題

ポスター発表 31 題（うち 1 題は当日キャンセル）

JMC 職員が発表者となったものは計 14 題。

会場：ビジターセンターホール（口頭発表）、セミナーハウス白帝（ポスター発表）

3. 研究会の共催

(1) 動物園大学 6 in 犬山 ず～だなも。

主催：京都大学野生動物研究センター

日程：平成 28 年 3 月 20 日

参加者：323 名

会場：ビジターセンターホール（メイン会場）、無料休憩所（ポスター発表）

4. 発表

(1) 学会・研究会での発表

赤見理恵. (2015) 霊長類から学ぶ小学 5 年生理科「人のたんじょう」. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)

赤見理恵. (2015) 学校貸出用事前学習教材の開発～博学連携の裾野を広げるために～. 第 56 回日本動物園水族館教育研究会. (沖縄県沖縄市)

荒木謙太, 中尾汐莉, 早川卓志, 新宅勇太. (2015) ヤクニホンザルの飼育施設モンキーバレイの歴史. 屋久島学ソサエティ第 3 回大会. (鹿児島県屋久島町)

荒木謙太, 山田将也, 赤見理恵, 木村直人, 伊谷原一. (2015) 学ぶ！観る！リスザルのおやつ作り体験. 第 56 回日本動物園水族館教育研究会. (沖縄県沖縄市)

福守朗, 森村成樹. (2015) 九州沖縄地域における飼育下チンパンジーのメスの繁殖状況. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)

Gao J, Tomonaga M, Matsuzawa T, Su Y. (2016) The rock-paper-scissors game in chimpanzees (*Pan troglodytes*). 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)

Gonseth C, Kawakami F, Ichino E, Tomonaga M. (2015) An experimental study of distance encoding mechanism in chimpanzees signaling. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)

Gonseth C, Kawakami F, Ichino E, Tomonaga M. (2016) Distance-specific referential signals in chimpanzees (*Pan troglodytes*). The 5th International Symposium on Primatology and Wildlife Science/ Hominization Symposium. (愛知県犬山市)

Hagiwara S, Morimura N, Tanaka M, Okamoto C, Ito S. (2015) Behavioral laterality in an Asian elephant (*Elephas maximus*) at Fukuyama Municipal Zoo, Japan. 49th congress of the International Society for Applied Ethology. (北海道札幌市)

萩原慎太郎, 森村成樹, 田中正之, 岡本智伸, 伊藤秀一. (2016) アジアゾウにおける行動の左右差に関するアンケート調査. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会 2016 年度春季合同研究発表会. (東京都武蔵野市)

早川卓志. (2015) 野生霊長類における NGS を用いた行動・生態・進化の研究. NGS 現場の会第四回研究会. (茨城県つくば市)

早川卓志. (2014) 霊長類における苦味受容体遺伝子の比較集団遺伝解析. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)

Hayakawa T. (2015) Dietary adaptation and bitter taste receptor gene evolution in primates. 日本進化学会第 17 回大会. (東京都文京区)

早川卓志. (2015) 霊長類における味覚受容体のゲノム進化と生態適応. 日本学術振興会育志賞研究発表会. (京都府京都市)

早川卓志. (2015) チンパンジーの味覚の進化論. マハレ 50 周年記念展・公開シンポジウム. (東京都文京区)

- 早川卓志 (2015) ワイルドライフゲノミクス～環境 DNA を用いた野生動物研究～. 屋久島学ソサエティ第 3 回大会. (鹿児島県屋久島町)
- 早川卓志. (2015) 比較ゲノム解析が明らかにする海生哺乳類の味覚の進化. 2015 年度勇魚会シンポジウム. (神奈川県藤沢市)
- Hayakawa T, Inoue E, Matsuo H, Koops K, Murayama M, Hashimoto C, Matsuzawa T, Imai H. (2015) Genetic diversity and evolution of bitter taste receptor genes (*TAS2Rs*) in wild chimpanzees. Association for Chemoreception Sciences 37th Annual Meeting. (アメリカ, フロリダ)
- 早川卓志, 戸田安香, 今井啓雄. (2015) 群れ飼育の霊長類における味覚感受性テスト. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 平賀真紀, 野口忠孝, 小倉典子, 井川亜久里, 須田朱美, 森村成樹. (2015) 飼育チンパンジーにおける行動調査に基づく繁殖個体の選定. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 廣川百恵, 中尾汐莉, 田中ちぐさ, 杉浦直樹, 川本芳, 市野進一郎. (2015) 遺伝子分析を利用したワオキツネザルの父系判定の研究. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 廣澤麻里, 奥村太基, 根本慧, 廣川百恵, 坂口真悟. (2016) マンドリルへのおがくずを利用したエンリッチメントの取組み. 動物園大学 6 in 犬山 ず～だなも. (愛知県犬山市)
- Imura T, Kawakami F, Shirai N, Tomonaga M. (2015) Visual processing of average size in chimpanzees. 38th European Conference on Visual Perception. (Liverpool, UK)
- 伊村知子, 川上文人, 白井述, 友永雅己. (2015). チンパンジーとヒトにおける平均サイズの知覚. 日本基礎心理学会第 34 回大会. (大阪府東大阪市)
- Inoue-Murayama M, Morimura N, Udono T, Idani G, Matsuzawa T, Wilson V, Weiss A. (2015) Polymorphism of the mu-opioid receptor gene (*OPRM1*) and arginine vasopressin receptor gene (*AVPR1a*) is associated with chimpanzee Conscientiousness. 日本霊長類学会第 30 回大会. (京都府京都市)
- 石田崇斗, 坂口真悟, 鏡味芳宏, 荒木謙太, 綿貫宏史朗, 新宅勇太, 赤見理恵. (2015) JMC におけるエンリッチメント体験を通じた教育活動. 第 110 回日本動物園水族館協会中部ブロック飼育技術者研修会. (静岡県賀茂郡東伊豆町)
- 石田崇斗, 山田将也, 根本慧, 鏡味芳宏, 堀込亮意, 木村直人, 綿貫宏史朗, 打越万喜子, 伊谷原一. (2015) フクロテナガザル人工保育仔の早期社会化のための群れ戻し. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 菊池泰弘, 中野良彦, 中務真人, 國松豊, 清水大輔, 荻原直道, 辻川寛, 高野智, 石田英實. (2015) ケニア中期中新世の類人猿 *Nacholapithecus kerioi* における下位胸椎一椎体サイズと棘突起について. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- Kim Y, Tomonaga M. (2015) Disadvantageous inequity influences chimpanzees' aversive reaction, but not their prosocial choice. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 菊田恭介, 根本慧, 廣川類, 奥村太基, 綿貫宏史朗, 打越万喜子. (2015) アビシニアコロブス新生子に対する群れの養育行動の変化. 第 111 回日本動物園水族館協会中部ブロック飼育技術者研修会. (愛知県岡崎市)

- 木下こづえ, 久世濃子, 小林智男, 宮川悦子, 成田浩光, 井上-村山美穂, 伊谷 原一. (2015) 近赤外分光法を用いたボルネオオランウータン (*Pongo pygmaeus*) の尿中エストロゲン代謝産物とクレアチニン濃度測定について. 日本霊長類学会第 30 回大会 (京都府京都市).
- 木下こづえ, 久世濃子, 小林智男, 宮川悦子, 成田浩光, 井上-村山美穂, 伊谷原一, Tsenkova R. (2015) フィルターペーパーを用いた近赤外分光法によるボルネオオランウータン (*Pongo Pygmaeus*) の尿中エストロゲン代謝産物濃度測定について. 第 31 回近赤外フォーラム. (茨城県つくば市)
- Kurosawa Y, Tomonaga M. (2015). Do chimpanzees try to increase their “assets”? 日本動物心理学会第 75 回大会. (東京都文京区)
- 黒澤圭貴, 川上文人, 友永雅己. (2016) チンパンジー集団を対象としたトークン使用の社会実験: チンパンジーは将来に備えて「投資」するか? 科学研究費補助金新学術領域「こころの時間学」2015 年度第 2 回班会議. (大阪府豊中市)
- 黒澤圭貴, 友永雅己. (2015) チンパンジーは「投資」をするのか? 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 丸一喜, 森村成樹. (2015) 冷温帯で飼育されるチンパンジーの道具使用と気象条件の関係について. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 水野佳緒里, Sharma N, Sukumar R, 伊谷原一. (2015) 野生アジアゾウの危険を伴う移動時に見られる行動: 道路渡りの事例から. 日本動物行動学会第 34 回大会. (東京都港区)
- Mizuno K, Sharma N, Sukumar R, Idani G. (2016) Moving in dangerous situations: What wild Asian elephants do when crossing roads? 日本生態学会第 63 回全国大会. (宮城県仙台市)
- Mizuno K, Yasui S, Tanaka M, Idani G. (2016) Individual identity of low-frequency calls in captive immature Asian elephants. The 4th Design Symposium on Conservation of Ecosystem (SEASTAR2000). (京都府京都市)
- 森村成樹. (2016) 飼育チンパンジーにおける電動ドアの自発的な操作. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会 2016 年度春季合同研究発表会. (東京都武蔵野市)
- Morimura N. (2015) Green Corridor Project at Bossou-Nimba, Guinea. The 4th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (京都府京都市)
- Morimura N. (2015) Social life of captive chimpanzees: The two faces of behavioral freedom. The 49th Congress of the International Society for Applied Ethology. (北海道札幌市)
- Morimura N. (2016) Conservation of wild chimpanzees at Bossou, Guinea, The 5th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (愛知県犬山市).
- Morimura N, Mori Y. (2015) Interactive live-streaming video enrichment in captive male chimpanzees. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市).
- 森田菜摘, 前田洋一, 綿貫宏史朗, 竹田正人. (2015) 2015 国際テナガザル年の目的と取り組み. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 森田菜摘, 前田洋一, 綿貫宏史朗, 竹田正人. (2016) 2015 国際テナガザル年の活動報告. 動物園大学 6 in 犬山 ず〜だなも. (愛知県犬山市)
- Motokawa M, Nakano T, Shintaku Y, Malaivijitnond S. (2015) Authorship for the species name of the Japanese macaque *Macaca fuscata*. Symposium on Primate Diversity in East and Southeast Asia. (Bangkok, Thailand)

- 野口忠孝, 平賀真紀, 小倉典子, 井川阿久里, 森村成樹. (2016) チンパンジーのヨシズへ
来園から初めての出産、その後～. 動物園大学 6 in 犬山 ず～だなも. (愛知県犬山市)
- 岡安直比, 伊谷原一, 木村大治, 杉浦直毅, 武内進一. (2015) エコツーリズムを通じた中
部アフリカ生物多様性保全とコミュニティ開発ーボノボ・エコツーリズムの経済分析
と日本市場マーケティングからの費用対効果の検証. 日本アフリカ学会第 52 回学術
大会. (愛知県犬山市)
- 奥村文彦, 星野智紀, 坂口真悟, 綿貫宏史朗, 木下こづえ, 岡部直樹, 木村直人, 伊谷原一.
(2015) 飼育下チンパンジーの授乳期における性皮腫脹. 第 31 回日本霊長類学会大会.
(京都府京都市)
- 奥村太基, 根本慧, 廣川類, 菊田恭介, 打越万喜子, 綿貫宏史朗. (2016) アビシニアコロ
ブス新生子に対する群れの養育行動の変化. 動物園大学 6 in 犬山 ず～だなも. (愛
知県犬山市)
- Permita LH, Widyati KA, Nila S, Tsutusi K, Suzuki-Hashido N, Hayakawa T, Suryobroto B,
Imai H. (2015) Functional identification of gene encoding receptor of PTC bitter taste
compound in leaf-eating monkeys. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 坂口真悟, 荒木謙太, 石田崇斗, 大島悠輝. (2016) 日本モンキーセンターにおける霊長類
のより深い理解を目的とした体験型イベントの取り組み. 動物園大学 6 in 犬山 ず～
だなも. (愛知県犬山市)
- Saito M, Idani G. (2015) Giraffe mother-calf relationships in Miombo woodland, western
Tanzania. Giraffe Indaba III. (Cape Town, South Africa)
- Saito M, Idani G. (2016) Comparison of proximity and social behavior between calf and
juvenile in wild giraffe. Design Symposium on Conservation of Ecosystem. (京都府京
都市)
- 櫻庭陽子, 友永雅己, 足立幾磨, 近藤裕治, 山本光陽, 林美里. (2016) 障害をもつチンパ
ンジーの福祉とは?～ヒトのリハビリテーションからヒントを得る～. 人類学若手の
会第 4 回総合研究集会. (福岡県福岡市)
- 新宅勇太. (2015) 飼育下ヤクニホンザルにおける繁殖パラメーターの時間的変化. 第 31
回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 新宅勇太. (2015) 屋久島を離れて 60 年: 日本モンキーセンターのヤクニホンザルに起
きた形の変化. 屋久島学ソサエティ第 3 回大会. (鹿児島県屋久島町)
- 新宅勇太, 鏡味芳宏, 山田将也, 荒木謙太, 石田崇斗, 堀込亮意, 岡部直樹, 木村直人, 伊
谷原一. (2015) 日本モンキーセンターの標本資料と飼育記録に基づく飼育下ヤクニ
ホンザルの形態の変化. 第 63 回動物園技術者研究会. (千葉県千葉市)
- Shintaku Y. (2016) Reevaluation of primate specimen collection of Japan Monkey Centre
as genetic resources. The 5th International Symposium on Primatology and Wildlife
Science. (愛知県犬山市)
- 鈴木・橋戸南美, 早川卓志, 松井淳, 郷康広, 平井啓久, 颯田葉子, 今井啓雄. (2015) ニホ
ンザルにおける PTC 味盲多型の急速な拡がり. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都
府京都市)
- 高野智. (2015) 日本モンキーセンターの生息地研修とその展開. 第 31 回日本霊長類学
会大会自由集会「野生への窓を開く動物園教育」. (京都府京都市)
- 高野智. (2015) 日本モンキーセンターにおける地域の学校との連携: 10 年間の歩み. 第
56 回日本動物園水族館教育研究会. (沖縄県沖縄市)

- 田中ちぐさ, 綿貫宏史朗, 岩原真利. (2015) オランダの動物園における展示・飼育管理を見学して. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 田中正之, 山梨裕美, 森村成樹. (2015) [宿題調査報告] 飼育下チンパンジーの生活スキルについて. 第 63 回動物園技術者研究会. (千葉県千葉市)
- 寺本研, 山梨裕美, 野上悦子, 森裕介, 森村成樹, 平田聡. (2015) チンパンジーのストレスホルモン長期モニタリング. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 寺本研, 山梨裕美, 野上悦子, 森裕介, 森村成樹, 平田聡. (2015) 飼育チンパンジーの体毛中ストレスホルモンの長期モニタリング. 動物園大学 6 in 犬山 ず〜だなも. (愛知県犬山市)
- 友永雅己. (2015) 指定討論. 日本心理学会第 79 回大会公募シンポジウム「わたしたちがもっと見つめる先: 視線認知をめぐる先端研究 (三つ目がとおる)」(愛知県名古屋市)
- 友永雅己. (2015) イルカはヒトをどう見ているか. 日本心理学会第 79 回大会公募シンポジウム「異種間で伝達される社会的シグナルの探求」. (愛知県名古屋市)
- 友永雅己. (2015) (Do) chimpanzees see a face on Mars (?): Pareidolia, or perception of face-like stimuli in chimpanzees. 日本心理学会第 79 回大会公募シンポジウム「パレイドリア〜その先にあるもの」. (愛知県名古屋市)
- Tomonaga M, Kawakami F. (2015) How chimpanzees perceive human and chimpanzee eyes? 日本動物心理学会第 75 回大会. (東京都文京区)
- Tomonaga M. (2015) Social perception and cognition in chimpanzees. International Workshop “Hard-Wired, Soft-Wired and Re-Wired”. (Rome, Italy)
- Tomonaga M. (2016) Exploring the perceptual world from the comparative-cognitive perspective. The 5th International Symposium on Primatology and Wildlife Science/Hominization Symposium. (愛知県犬山市)
- 友永雅己, 熊崎清則, Camus F, Nicod S, Pereira C, 松沢哲郎. (2016). Clever Hans 2016 ーウマにおけるタッチパネルを用いた相対的な数の大小判断. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会 2016 年度春季研究発表会. (東京都武蔵野市)
- 友永雅己, 酒井基行, 田中由浩, 佐野明人. (2015) Feel the Force ーチンパンジーにおけるトラックボールを用いた力覚弁別. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 友永雅己. (2016) 未来を予測するこころの進化: チンパンジー集団を対象としたトークン使用の社会実験. 科学研究費補助金新学術領域「こころの時間学」2015 年度第 2 回班会議. (大阪府豊中市)
- 辻内祐美, 野上悦子, 山梨裕美, 平田聡. (2016) 熊本サンクチュアリの雄チンパンジーの毎日〜日替わりエンリッチメントの評価と社会交渉の調査〜. 動物園大学 6 in 犬山 ず〜だなも. (愛知県犬山市)
- 打越万喜子, 綿貫宏史朗, 山田将也, 石田崇斗, 高野智. (2015) 日本モンキーセンターの「国際テナガザル年」. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 綿貫宏史朗, 奥村文彦, 打越万喜子, 友永雅己, 平田聡, 伊谷原一, 松沢哲郎. (2015) 国内飼育下フクロテナガザルにおける適切な個体群管理に向けた個体情報収集と評価. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 綿貫宏史朗, 奥村文彦, 打越万喜子, 友永雅己, 平田聡, 伊谷原一, 松沢哲郎. (2015) 国内飼育下フクロテナガザルにおける適切な個体群管理に向けた個体情報収集と評価. 第 21 回日本野生動物医学会大会. (北海道江別市)

- 綿貫宏史朗, 奥村文彦, 打越万喜子, 平田聡, 伊谷原一, 友永雅己, 松沢哲郎. (2015) 国内飼育下フクロテナガザルにおける適切な個体群管理に向けた個体情報収集と評価. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 綿貫宏史朗, 鏡味芳宏, 奥村文彦, 伊谷原一. (2015) 霊長類コレクションの自己評価と今後の持続可能性. 第 63 回動物園技術者研究会. (千葉県千葉市)
- Wilson D. Vick S-J, Tomonaga M. (2015) Can eye preferences I response to emotional stimuli used as a welfare measure in captive capuchin monkeys? 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 山田将也, 堀込亮意, 鏡味芳宏. (2016) 日本モンキーセンターでのヤクニホンザル群の歴史と特徴的な行動について. 動物園大学 6 in 犬山 ず〜だなも. (愛知県犬山市)
- 山田将也, 石田崇斗, 根本慧, 鏡味芳宏, 綿貫宏史朗, 打越万喜子, 堀込亮意, 木村直人, 伊谷原一. (2015) フクロテナガザル人工哺育子の早期社会化のための群れ戻し. 第 63 回動物園技術者研究会. (千葉県千葉市)
- 山田将也, 鏡味芳宏, 石田崇斗, 堀込亮意, 木村直人, 綿貫宏史朗, 新宅勇太, 伊谷原一. (2015) 日本モンキーセンターでのヤクニホンザルのイモ洗い行動について. 第 18 回 SAGA シンポジウム. (京都府京都市)
- 山梨裕美, 寺本研, 森村成樹, 野上悦子, 平田聡. (2015) 飼育チンパンジーの長期的なストレスに影響を及ぼす要因の検討: 攻撃・親和的社会行動に着目して. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)
- 山梨裕美, 寺本研, 森村成樹, 野上悦子, 平田聡. (2015) 飼育チンパンジーの社会交渉: 遊びは福祉の指標になるのか? 日本家畜管理学会・応用動物行動学会 2016 年度春季合同研究発表会. (東京都武蔵野市)
- Yamanashi Y, Teramoto M, Morimura N, Hirata S, Inoue-Murayama M, Idani G. (2015) Long-term stress monitoring of captive chimpanzees in social housings: monitoring hair cortisol level and behaviors. 国際応用動物行動学会. (北海道札幌市)
- Yu L, Tomonaga M. (2015) Unidirectional tempo convergence in pairs of chimpanzees: an examination under face-to-face setup. 第 31 回日本霊長類学会大会. (京都府京都市)

(2) 第 60 回プリマーテス研究会での発表

モンキーセンターにおける飼料の変化 ～動物福祉を目指した飼料品目改善～

安倍由里香, 根本真菜美, 今井由香, 廣川百恵, 太岡幸男

学校貸出し用事前学習教材の開発

赤見理恵, 高野智, 江藤彩子, 小比賀正規

学ぶ! 観る! リスザルのおやつ作り体験

荒木謙太, 三宅菜穂美, 長谷川裕士, 大島悠輝, 三井桃依

The rock-paper-scissors game in chimpanzees (*Pan troglodytes*)

Gao J, Su Y, Tomonaga M, Matsuzawa T.

Distractor effect of auditory rhythms on self-paced tapping in chimpanzees and humans

Hattori Y, Tomonaga M, Matsuzawa T.

飼育下霊長類のためのみどりある環境

廣澤麻里

飼育チンパンジーにおける性周期の認知実験参加への影響

市野悦子, 友永雅己

チンパンジー (*Pan troglodytes*) における精子運動率の時間変化に関する基礎的研究

印藤頼子, 奥村文彦, 早川卓志, 伊谷原一, 岡本宗裕, 木下こづえ

フクロテナガザル人工哺育仔の早期社会化のための群れ戻し

石田崇斗, 山田将也, 根本慧, 鏡味芳宏, 綿貫宏史朗,
打越万喜子, 堀込亮意, 木村直人, 伊谷原一

繁殖期のワオキツネザルのオスは臭腺分泌物質をどのような目的で利用しているのか

糸井川壮太, 早川卓志, 今井啓雄

日本モンキーセンターにおける周産期新生仔期死亡について

～過去10年間の分析と今後の課題～

木村直人, 岡部直樹

飼育下チンパンジー (*Pan troglodytes*) における出産後の性皮腫脹と性ステロイド

ホルモン濃度動態について

木下こづえ, 奥村文彦, 星野智紀, 廣澤麻里, 中尾汐莉, 坂口真悟, 綿貫宏史朗,

岡部直樹, 木村直人, 伊谷原一, 市野悦子, 高島友子, 林美里, 岡本宗裕

高知県立のいち動物公園のチンパンジー集団における、二卵性のふたごとおとなとの

近接関係の4年間の変化

岸本健, 安藤寿康, 多々良成紀, 山田信宏, 友永雅己

チンパンジー集団を対象としたトークン使用の社会実験

—チンパンジーは将来に備えて「投資」するか？

黒澤圭貴, 川上文人, 友永雅己

視線はコミュニケーション？視線を避けるサル視線認識

村井千寿子, 友永雅己

毛小皮紋理の形態を用いた野生ヒョウに捕食される霊長類の比較解析

仲澤伸子, 新宅勇太, 早川卓志

飼育下のケナガクモザルで長期間維持されていたと考えられる蟻虫感染について

岡本宗裕, 木村直人, 岡部直樹, 廣川類, 根本慧,

新美幸, 新宅勇太, 早川卓志, 伊谷原一

アビシニアコロブス新生子に対する群れの養育行動の変化

奥村太基, 根本慧, 廣川類, 菊田恭介, 打越万喜子, 綿貫宏史朗

Functional characterization of bitter taste perception in leaf-eating monkeys

Permita LH, Widayati KA, Nila S, Tsutsui K,

Suzuki-Hashido N, Hayakawa T, Suryobroto B, Imai H.

高磁場 MRI による霊長類の脳神経回路構造の比較研究

酒井朋子, 畑純一, 太田裕貴, 小川優樹, 新宅勇太, 大石健一,

森進, 岡野ジェイムス洋尚, 濱田穰, 岡野栄之

身体障害をもつチンパンジーにおける認知課題を用いた歩行リハビリテーションの導入

櫻庭陽子, 友永雅己, 林美里

屋久島のニホンザルにおける腸内細菌叢の季節変動

澤田晶子, 栗原洋介, 早川卓志

ABS 対応に向けた日本モンキーセンター所蔵の生物学資料の再評価

新宅勇太

野生ジャワルトンの苦味受容体遺伝子の多様性解析

鈴木 - 橋戸南美, 早川卓志, Permita LH, Nila S, Widayati KA, Suryobroto B, 今井啓雄

ヒト上科における肘関節の進化

高野智

高知県立のいち動物公園における脳性麻痺チンパンジーへの発達支援へのとりくみ

高塩純一, 山田信宏, 高橋一郎, 下元佳子, 竹下秀子,

川上文人, 林美里, 水野友有, 友永雅己

チンパンジーにおける音源弁別学習

瀧山拓哉, 服部裕子, 松沢哲郎

モンキーセンターにおけるワオキツネザルの血統とその管理

田中ちぐさ, 廣川百恵, 中尾汐莉, 杉浦直樹

レッサースローロリスの口内検診

寺尾由美子, 岡部直樹, 廣澤麻里, 木村直人

国際テナガザル年 -2015：日本モンキーセンターでの教育普及活動

打越万喜子, 綿貫宏史朗, 山田将也, 石田崇斗, 高野智
オランダの動物園における霊長類の混合飼育実施状況について

綿貫宏史朗, 田中ちぐさ, 岩原真利

Attentional capture and disengagement as a way of assessing emotional state in captive chimpanzees: A research plan

Wilson D, Tomonaga M

日本モンキーセンターでのヤクニホンザルのイモ洗い行動について

山田将也, 鏡味芳宏, 石田崇斗, 綿貫宏史朗,
新宅勇太, 堀込亮意, 木村直人, 伊谷原一

5. 講演

星野智紀. (2015) マモルの成長を見守り、それを一緒に支える動物園ならではの研究者との連携. 動物園大学 6 in 犬山 ず～だなも. (愛知県犬山市)

伊谷原一. (2015) 教育・研究における動物園 / 水族館と大学の連携. 平成 27 年度日本動物園水族館協会総会課題講演 (兵庫県姫路市).

伊谷原一. (2016) ヒトとは何か？ボノボにみるヒト社会の起源. IBM ユーザー研究会招聘講演. (大阪府大阪市).

伊谷原一. (2016) アフリカ稀少類人猿・ボノボ. 広島市安佐動物公園・動物講演会 (広島県広島市).

Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human cognitive development: insights from research on chimpanzees. Evolutionary psychology & primatology in the low countries. (Amsterdam, The Netherlands)

Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human mind and culture: insights from research on Japanese monkeys and chimpanzees. Ape culture. (Berlin, Germany)

Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human cognitive development: insights from research on chimpanzees. Copernicus Festival 2015: Genius. (Krakow, Poland)

Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human cognition: insights from research on chimpanzees. II BioAnthropological Meeting: life, death and in between. (Coimbra, Portugal)

Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human mind: insights from research on the great apes especially Orangutans. International conference on rainforest ecology, diversity and conservation in Borneo. (Kota Kinabalu, Malaysia)

Matsuzawa T. (2015) Evolutionary origin of human language viewed from the study of chimpanzees. 8th World Congress of African Linguistics (WOCAL 8). (Kyoto, Japan)

Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human mind viewed from the study of chimpanzees: the parallel efforts of conservation and welfare. The 6th European federation for primatology meeting. (Rome, Italy)

Matsuzawa T. (2015) The evolutionary of the human mind can be understood through the study of chimpanzees in the wild and the laboratory. ABAI's the 8th international conference. (京都府京都市)

Matsuzawa T. (2015) Tokens and tools: a parallel effort of lab work and field work by Claudia Sousa. Chimpanzees, people & nature: the legacy of Claudia Sousa. (Lisbon, Portugal)

- Matsuzawa T. (2015) 2015 Ewha EcoScience Symposium, Ewha woman University. (Seoul, Korea)
- Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human cognitive development: insights from research on chimpanzees. The 3rd International conference on human-agent interaction. (Daegu, Korea)
- Matsuzawa T. (2015) 从黑猩猩看人类心智起源. Guangdong Science Center. (Guangdong, China)
- Matsuzawa T. (2015) The evolutionary origins of human mind viewed from the study of chimpanzees. Consciousness, cognition and culture: implications for the 21st century. (Bengaluru, India)
- Matsuzawa T. (2016) The evolutionary origins of human mind viewed from the study of chimpanzees. Sorbonne conference on chimpanzees and horses. (Paris, France)
- Matsuzawa T. (2016) Primatologists in Discussion. The Netherlands meets Japan. (Leiden, The Netherlands)
- Matsuzawa T. (2016) Language and number in chimpanzees. Lorentz Center Workshop. (Leiden, The Netherlands)
- Matsuzawa T. (2016) Evolution of human mind viewed from the study of chimpanzees. The 8th Hope meetings. (茨城県つくば市).
- Matsuzawa T. (2016) The evolutionary origins of human cognitive development: insights from research on chimpanzees. ICN2016 Uruguay. (Montevideo, Uruguay)
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 第 29 回日本医学学会総会 2015 関西 2015, (京都府京都市)
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 日本麻酔科学会第 62 回学術集会, (兵庫県神戸市)
- 松沢哲郎. (2015) チンパンジーの子育てからみた人間の子育て「見習う学習、教えない教育」とそこからの一歩. 第 2 回未来教育シンポジウム. (東京都墨田区)
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 第 5 回 CiNet シンポジウム 第 3 回大阪大学 COI シンポジウム：人間力・社会力の脳科学, (東京都千代田区)
- 松沢哲郎. (2015) ジェノサイド「大虐殺」の成り立ち. 講演会：法然院 夜の森の教室. (京都府京都市)
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 第 21 回日本看護診断学会学術大会, (福井県福井市)
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 第 5 回国際医療福祉大学学会学術大会. (栃木県大田原市)
- 松沢哲郎. (2015) 東京三菱調査懇談会 講演.
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 豊島岡女子学園 講演. (東京都豊島区)
- 松沢哲郎. (2015) 人間とそれ以外の動物の赤ちゃんを比較する. 『赤ちゃん学研究センター』キックオフシンポジウム. (京都府京田辺市)
- 松沢哲郎. (2015) 東大寺ミュージアム 講演. (奈良県奈良市)
- 松沢哲郎. (2015) 国際京都学協会 講演.

- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間のころ・ことば・きずな. 日本感覚統合学会. (広島県広島市)
- 松沢哲郎. (2015) 京都退職教職員のつどい 講演. (京都府京都市)
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 旭リサーチセンター定例研究会. (東京都千代田区)
- 松沢哲郎. (2015) 広島京大会主催・京都大学共催市民公開講演会. (広島県広島市)
- 松沢哲郎. (2015) ブータンに学ぶ国のありかた. 松本市立美術館 写真展「ブータンの山と文化」開催記念講演. (長野県松本市)
- 松沢哲郎. (2015) 日本科学未来館 講演会. (東京都江東区)
- 松沢哲郎. (2015) 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心. 赤坂精神医学懇話会. (東京都港区)
- Tomonaga M. (2015) Chimpanzee mind: For the exploration of the origin of human mind. 北京大学招待講演. (中国, 北京)
- 友永雅己. (2015) チンパンジーから見るころの進化と発達. 静岡県立磐田南高校スーパーサイエンスハイスクール講演. (愛知県犬山市)
- 友永雅己. (2015) チンパンジーからみたころの進化. びっくり！エコ新聞「霊長類と環境について学ぶ旅」講演. (愛知県犬山市)
- 友永雅己. (2015) チンパンジーからみたころの進化. 両国高校レクチャー. (愛知県犬山市)
- 友永雅己. (2015) 森のころ、海のころ ー野生の認知科学に向けてー. 公開シンポジウム「心の先端研究の現在とこれから」. (富山県富山市)
- 友永雅己. (2015) イルカから見た世界 2015：水族館との共同研究を通して. 公開シンポジウム『「イルカ学」水族館からのアプローチ』. (兵庫県神戸市)

6. セミナーの開催

(1) JMC セミナー

第6回：平成27年5月18日

会場：セミナーハウス白帝

演題：宇陀市のサル被害と対策について 屏賀豪才（奈良県宇陀市役所農林課）
サルとハチドリの味覚の遺伝子の進化

戸田安香（キッコーマン株式会社／東京大農学生命科学研究科）

アメリカ出張報告 ～ハーバード大学・比較動物学博物館で見てきたこと～

早川卓志（京都大学霊長類研究所／日本モンキーセンター）

第7回：平成27年6月30日

会場：セミナーハウス白帝

演題：類人猿今昔話 黒鳥英俊（京都大学野生動物研究センター）

第8回：平成27年7月23日

会場：セミナーハウス白帝

演題：サルレトロウイルス4型によるニホンザル血小板減少症

岡本宗裕（京都大学霊長類研究所）

第9回：平成27年10月28日

会場：セミナーハウス白帝

演題：自己紹介とGAIN・KSでの業務について

岩原真利（京都大学霊長類研究所）

コンゴ・マレボの森のボノボ その保全に向けて

新宅勇太（日本モンキーセンター／京都大学野生動物研究センター）

第10回：平成27年11月19日

会場：セミナーハウス白帝

演題：タンザニア生息地研修報告

奥村文彦（日本モンキーセンター）

オランダ動物園視察研修報告

綿貫宏史朗（日本モンキーセンター／京都大学霊長類研究所）

第11回：平成27年12月22日

会場：セミナーハウス白帝

演題：屋久島研修報告

荒木謙太（日本モンキーセンター）

アフターダーク ～チンパンジーとスローロリスの夜更け～

山梨裕美（京都大学野生動物研究センター）

ワークショップ：エンリッチメント実践 Part 4

橋本直子、藤森唯（京都大学霊長類研究所）

(2) 職員向け「霊長類基礎セミナー」

第1回：平成28年3月8日

内容：霊長類学概論

高野智

III 生息地・施設研修

1. 幸島（京都大学野生動物研究センター幸島観察所）

第6班 平成27年4月7日～4月9日

星野智紀、荒木謙太、辻内祐美

第7班 平成27年5月19日～5月21日

加藤章、廣川百恵、根本真菜美

第8班 平成27年6月9日～6月11日

鏡味芳宏、廣川類、三宅菜穂美、大岡幸男

第9班 平成28年2月1日～2月4日

新宅勇太、江藤彩子、菊田恭介、大島悠輝

第10班 平成27年2月22日～2月25日

山田将也、三井桃依、奥村太基、平倉柊太郎

2. 屋久島（京都大学野生動物研究センター屋久島観察ステーション）

第2班 平成27年11月5日～11月9日

新宅勇太、早川卓志、荒木謙太、中尾汐莉

第3班 平成28年3月14日～3月17日

今井由香、安倍由里香

3. 京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリ

第9班 平成27年4月14日～4月16日

加藤章、杉浦直樹

第10班 平成27年5月26日～5月28日

今井由香、古賀典子、江藤彩子

第11班 平成28年2月8日～2月10日

星野智紀、奥村太基、大島悠輝

第12班 平成26年3月7日～3月9日

奥村文彦、菊田恭介、三井桃依、平倉柊太郎

4. マレーシア・ボルネオ島（ダナムバレー保護地域）

平成27年6月3日～6月9日

木村直人

5. タンザニア

第2班（ゴンベ国立公園、セルー動物保護区）

平成27年9月16日～9月25日

高野智、鏡味芳宏

第3班（セレンゲティ国立公園、ゴンベ国立公園、カタヴィ国立公園）

平成28年2月15日～2月28日

寺尾由美子

6. オランダ（アーペンヒュール動物園ほか）

平成27年9月29日～10月6日

綿貫宏史朗、田中ちぐさ

IV 保全活動

1. コンゴ民主共和国マレボ地域におけるボノボ保全活動

(1) 現地調査の実施 平成27年8月25日～9月15日

伊谷原一、新宅勇太

(2) 三井物産環境基金活動助成

案件名：コンゴ民主共和国の稀少大型類人猿ボノボ保全のための感染症モニタリングと普及啓発活動

申請代表者：木村直人

期間：平成27年10月1日～平成30年9月30日

金額：総額 13,998,000 円

現地調査の実施 平成28年3月15日～3月29日

新宅勇太

2. スローロリス保全センターの立ち上げ

(1) キックオフミーティングの開催

平成28年3月21日

(2) 南米館旧夜行性飼育室の改装開始

V 普及教育活動

1. 企画展・特別展の開催

(1) 企画展「生息地研修パネル展」

会期：平成 26 年 10 月 11 日～平成 28 年 3 月 14 日

場所：ビジターセンター内

(2) 特別展「サルの“すごい”にせまる」

会期：平成 27 年 3 月 21 日～平成 27 年 8 月 31 日

場所：ビジターセンター

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会

(3) 特別展「もうすぐ 60 周年！モンキーセンターのあゆみ」

会期：平成 27 年 9 月 19 日～平成 28 年 2 月 29 日

場所：ビジターセンター内 特別展示室

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会

(4) 特集展示「申年縁起物展」

会期：平成 27 年 12 月 26 日～平成 28 年 2 月 29 日

場所：ビジターセンター内 企画展示室

(5) 特別展「霊長類の新常識！」

会期：平成 28 年 3 月 19 日～開催中

場所：ビジターセンター内 特別展示室

(6) 企画展「ジオアートワークス WILDLIFE ART」(動物園大学 6 in 犬山と共同開催)

会期：平成 28 年 3 月 20 日～平成 28 年 4 月 19 日

場所：ビジターセンター内 企画展示室

2. 2015 年度京大モンキーキャンパスの開講

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

後援：愛知県、岐阜県、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、犬山市、

犬山市教育委員会

受講費：15,000 円（全 6 回分、日本モンキーセンター友の会年会費 3,000 円を含む）

受講者数：103 名

プログラム：

第 1 回 平成 27 年 6 月 14 日

講師：関野吉晴（武蔵野美術大学造形学部）

「グレートジャーニー：人類の移動拡散と適応」

- 第2回 平成27年7月12日
講師：友永雅己（京都大学霊長類研究所）
「チンパンジーからみたところの進化」
- 第3回 平成27年8月9日
講師：今井啓雄（京都大学霊長類研究所）
「受容体から想像するサルの味覚」
- 第4回 平成27年9月13日
講師：古市剛史（京都大学霊長類研究所）
「渡り歩くヒト科のメスたち：メスにとっての集団と地域社会」
- 第5回 平成27年10月11日
講師：小川秀司（中京大学国際教養学部）
「マカク属のサル：似ているようで、けっこう違うニホンザルの仲間たち」
- 第6回 平成27年11月8日
講師：依田憲（名古屋大学大学院環境学研究科）
「追跡できない動物は、いない：デジタル時代の動物行動学」

3. 京大モンキーキャンパス研修旅行の開催

京大モンキーキャンパス受講者を対象に、京都大学熊本サントピアへの
研修ツアーを開催

第1班：平成28年3月25日～3月26日 参加者7名 綿貫宏史朗
訪問先：京都大学野生動物研究センター熊本サントピア、熊本市動植物園

4. 京大モンキー日曜サロンの開催

主催：公益財団法人日本モンキーセンター

京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
京都大学霊長類研究所

- 第12回 「ウガンダの子どもたちに聞いてみた、チンパンジーって知ってる？」
講師：有賀菜津美（京都大学霊長類研究所） 平成27年4月5日
- 第13回 「早老症のサル、シワコの話」
講師：大石高生（京都大学霊長類研究所） 平成27年4月19日
- 第14回 「アフリカの熱帯雨林でゴリラと暮らす」
講師：坪川桂子（京都大学大学院理学研究科） 平成27年5月17日
- 第15回 「サルのしっぽを比べてみよう！」
講師：若森参（京都大学霊長類研究所） 平成27年5月31日
- 第16回 「障害をもつチンパンジーの幸せを考える」
講師：櫻庭陽子（京都大学霊長類研究所） 平成27年6月28日
- 第17回 「中国の猿まわし ―その文化的背景と福祉」
講師：張鵬（中国・国立中山大学） 平成27年7月26日
- 第18回 「同調する行動：チンパンジーを対象にしたタッピング実験の紹介」
講師：ユリラ（京都大学大学院教育学研究科） 平成27年8月23日
- 第19回 「テングザル：ボルネオ島のジャングルにすむ不思議なサル」
講師：松田一希（京都大学霊長類研究所） 平成27年9月27日

- 第 20 回 「となりは何をする人ぞ ～アニメを見ることの進化と発達～」
講師：渥美剛史（京都大学霊長類研究所） 平成 27 年 11 月 22 日
- 第 21 回 「人類進化の謎解きに出かけよう
ーアフリカの森で、障害のあるチンパンジーの子育てと発達を追うー」
講師：松本卓也（京都大学大学院理学研究科） 平成 28 年 3 月 13 日
- 第 22 回 「マンドリルはいずこ：ど派手なサルのもう 1 つの顔」
講師：本郷峻（京都大学大学院理学研究科） 平成 28 年 3 月 27 日

5. 講演会の開催

- ① 日本モンキーセンター創設 59 周年記念講演会
「アマゾン熱帯雨林と新世界ザル」
講師：伊沢鉤生（宮城教育大学名誉教授）
日時：平成 27 年 10 月 17 日
場所：ビジターセンターホール

6. アニマルフォトコンテストの開催

- ① 第 10 回モンキーセンターアニマルフォトコンテスト 優秀作品展の開催
期間：平成 26 年 11 月 3 日～平成 27 年 11 月 29 日
場所：ビジターセンター内
- ② 第 11 回モンキーセンターアニマルフォトコンテストの開催
募集期間：平成 27 年 5 月 1 日～9 月 30 日
部門：一般部門、学生部門、科学写真部門、組み写真部門
応募点数：1,368 点（応募者数 496 名）
入選点数：40 点（特別賞 20 点、入選 20 点）

表彰式：平成 27 年 12 月 5 日
場所：ビジターセンターホール
参加者：受賞者およびその家族等、48 名

- ③ 第 11 回モンキーセンターアニマルフォトコンテスト 優秀作品展の開催
期間：平成 27 年 12 月 5 日～ 開催中
場所：ビジターセンター内

7. 写生大会の開催

- ① 第 58 回中部ブロック動物園水族館協会写生コンクール参加
日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催
期間：平成 26 年 7 月 21 日～平成 27 年 7 月 24 日
場所：アフリカセンター内室内観覧通路

② 第 60 回中部ブロック動物園水族館協会写生コンクール参加
日本モンキーセンター写生大会の開催
募集期間：平成 27 年 4 月 1 日～5 月 31 日
応募点数：239 点
入選点数：45 点（特別賞 14 点、特選 12 点、入選 20 点）
表彰式：平成 27 年 7 月 25 日
場所：ビジターセンターホール
参加者：受賞者およびその家族、およそ 95 名

③ 第 60 回中部ブロック動物園水族館協会写生コンクール参加
日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催
期間：平成 27 年 7 月 25 日～ 開催中
場所：アフリカセンター内室内観覧通路

8. ホームページの充実

Web サイトの更新件数：274 件
主な更新：飼育室リニューアル
トップページ写真、ニュース、飼育室、獣医室等の定期的な更新

9. メールマガジン「新 JMC 通信」の発行

配信日：毎月 1 回、第 3 水曜日または木曜日
平成 27 年 3 月 31 日時点の登録数：4,878 件

10. フェイスブックを通じた情報発信

投稿数：102 件

11. YouTube 公式チャンネルからの配信（動画・スライドショー）

2015 年度新規配信：25 件
協力：中村美穂（京都大学野生動物研究センター）

12. マスメディアへの情報提供

(1) プレスリリース

「残暑を乗り切るために・サルにアイスフルーツをプレゼントします！！」

平成 27 年 8 月 18 日配信

「動物慰霊祭と講演会「アマゾン熱帯雨林と新世界ザル」の開催について」

平成 27 年 10 月 14 日配信

「大型類人猿の脱出を想定した対応訓練を実施します」 平成 27 年 11 月 26 日配信

「冬の風物詩「たき火にあたるサル」今年も 12 月 22 日（冬至）より開催します」

平成 27 年 12 月 14 日配信

「申年のお正月を、世界最多種のサル類と祝おう！ 日本モンキーセンターのお正月」

平成 27 年 12 月 24 日配信

「全国の動物園のうらばなしが聞ける！動物園大学 6 in 犬山 ず～だなも。」

平成 28 年 3 月 11 日配信

「リスザルの島と Wao ランド 人気の 2 施設がリニューアル！」

平成 28 年 3 月 25 日配信

- (2) 新聞記事掲載 58 件
- (3) テレビ 44 件
- (4) ラジオ 6 件（うち 1 件は月 1 回の定期出演）

13. 学習利用

幼稚園・保育園・学校・社会教育団体等向けのレクチャーや特別イベントの実施

(1) 団体入園者数	284 件・18,850 名		
内訳：	幼稚園・保育園	68 件	8,559 名
	小学校	68 件	5,190 名
	中学校	10 件	630 名
	高等学校	23 件	1,304 名
	大学・専門学校	27 件	989 名
	特別支援・養護学校	4 件	55 名
	福祉・介護施設	25 件	537 名
	一般・その他	61 件	1,652 名

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| (2) 教育プログラム利用状況 | 総数 185 件・12,331 名 |
| レクチャー： | 161 件 |
| 紙芝居： | 25 件 |
| KIDSZOO 団体利用： | 59 件 |
| スポットガイド団体利用： | 140 件 |
| キュレーター等によるガイドツアー： | 29 件 |
| バックヤード見学： | 16 件 |
| その他、標本を活用した実習、行動観察、ワークシート学習、特別撮影等 | |

14. 教員研修会の誘致

- (1) 尾張教育研究会丹波支部理科研究部夏季研修会
日程：平成 27 年 8 月 7 日
参加者：28 名
内容：レクチャー、ワークシート学習、博学連携事例紹介
講師：高野智
- (2) 愛知県総合教育センター 小・中学校 10 年経験者研修
日程：平成 27 年 8 月 20 日
参加者：38 名
内容：レクチャー、ワークシート学習、園内ガイドツアー、博学連携事例紹介
講師：高野智・赤見理恵

(3) 春日井市理科研究会

日程：平成 27 年 8 月 21 日

参加者：16 名

内容：レクチャー、ワークシート学習、博学連携事例紹介

講師：高野智

15. 教育普及活動の充実につながる各種ツールの開発

(1) 学校団体向け利用の手引き（改訂）

改訂版を近隣小中高等学校 1,806 校に発送

平成 28 年 3 月 31 日

(2) ワークシートの開発

(3) オリジナル紙芝居（新作）

(4) オリジナルカンバッジ（新作）

(5) 霊長類ガイドブックの活用

(6) 標本等を活用した教材開発

事前学習用貸出教材「くらべてみよう サルとキミ」 10 セット完成

平成 28 年 3 月 31 日

16. アウトリーチ活動

(1) 地元、近隣の学校などと連携した教育活動の実践における職員の講師派遣

① 金城学院大学

日程：平成 27 年 5 月 8 日

対象：現代子ども学科 1 年生 135 名

内容：人間科学基礎演習「行動観察実習の事前指導」

赤見理恵

② 犬山市立犬山北小学校

日程：平成 27 年 6 月 25 日

対象：6 年生 3 クラス 93 名

内容：理科授業「体のつくりとはたらき」の発展学習

高野智

③ 千葉県立千葉中学校

日程：平成 27 年 7 月 3 日

対象：全学年 240 名

内容：社会人講演会「自然と人をつなぐ ～動物園・博物館の役割」

新宅勇太

④ 犬山市立羽黒小学校

日程：平成 27 年 7 月 14 日

対象：6 年生 3 クラス 90 名

内容：理科授業「食性の異なるサルの消化管の違いとその特徴」

高野智

⑤ 犬山市立犬山西小学校

日程：平成 27 年 7 月 15 日

対象：6 年生 3 クラス 112 名

内容：理科授業「体のつくりとはたらき」の発展学習

高野智

⑥ 犬山市立城東小学校

日程：平成 27 年 9 月 2 日、9 月 4 日

対象：5 年生 5 クラス 150 名

内容：理科授業「人のたんじょう」の発展学習

赤見理恵

- ⑦ 犬山市立羽黒小学校
日程：平成 27 年 9 月 10 日
対象：5 年生 3 クラス 79 名
内容：理科授業「人のたんじょう」の発展学習 赤見理恵
- ⑧ 岐阜県立多治見西高等学校附属中学校
日程：平成 27 年 10 月 20 日
対象：2 年生 2 クラス 41 名
内容：理科授業「サルについて学ぶ意味」
「ヒトとチンパンジーの骨格標本からわかること」 高野智
- ⑨ 犬山市立犬山西小学校
日程：平成 27 年 10 月 21 日
対象：4 年生 3 クラス 103 名
内容：理科授業「ヒトとサルの骨格の違いとその特徴」 高野智
- ⑩ 犬山市立犬山北小学校
日程：平成 27 年 10 月 26 日
対象：2 年生 3 クラス 95 名
内容：国語授業「どうぶつ園のじゅうい」の発展学習 木村直人、赤見理恵
- ⑪ 犬山市立東部中学校
日程：平成 27 年 12 月 4 日
対象：2 年生 106 名
内容：所長講演「想像するちからーチンパンジーが教えてくれた人間の心ー」
松沢哲郎、赤見理恵
- ⑫ 犬山市立犬山中学校
日程：平成 28 年 1 月 19 日
対象：1 年生約 220 名
内容：所長講演「想像するちからーチンパンジーが教えてくれた人間の心ー」
松沢哲郎、赤見理恵
- ⑬ 犬山市立犬山東小学校
日程：平成 28 年 1 月 26 日
対象：1 年生 55 名
内容：国語授業「どうぶつのあかちゃん」の発展学習 赤見理恵
- ⑭ 犬山市立城東中学校
日程：平成 28 年 2 月 16 日
対象：3 年生約 200 名
内容：講演「想像するちからーチンパンジーが教えてくれた人間の心ー」
松沢哲郎、赤見理恵
- ⑮ 東京農業大学
日程：平成 28 年 2 月 23 日、2 月 29 日
対象：学芸員養成課程受講の大学 3 年生 93 名
内容：博物館学講義「日本モンキーセンターの概要と学芸員としての取り組み」
赤見理恵

⑩ 犬山市立南部中学校

日程：平成 28 年 3 月 15 日

対象：2 年生約 170 名

内容：講演「想像するちからーチンパンジーが教えてくれた人間の心ー」

松沢哲郎、赤見理恵

(2) キュレーターその他職員の一般会合等への講師派遣

① 大垣市環境フォーラムへのブース出展

日程：平成 27 年 6 月 6 日

場所：大垣市情報工房（岐阜県大垣市）

対象：一般市民

内容：講演「サルのお話とどうぶつクイズ」、出張 KIDSZOO、
パネル展「類人猿のいる風景」

赤見理恵、三宅菜穂美

② ユニー（株）「エコ博」へのブース出展

日程：平成 27 年 6 月 20 日

場所：リーフウォーク稲沢（愛知県稲沢市）

対象：一般市民

内容：講演「サルのお話とどうぶつクイズ」、JMC 紹介パネル展、出張 KIDSZOO

赤見理恵、三宅菜穂美、廣澤麻里

③ ユニー（株）「エコ博」へのブース出展

日程：平成 27 年 7 月 4 日

場所：アクアウォーク大垣（岐阜県大垣市）

対象：一般市民

内容：講演「サルのお話とどうぶつクイズ」、JMC 紹介パネル展、出張 KIDSZOO

赤見理恵、三宅菜穂美

④ サイエンストーク・蒲郡まつりスペシャル 2015 ～ SF 映画に乾杯

日程：平成 27 年 7 月 25 日

場所：蒲郡市生命の海科学館（愛知県蒲郡市）

対象：一般市民

内容：「サイエンストーク・蒲郡まつりスペシャル 2015」講師

高野智

⑤ 熱田神宮緑陰教室

日程：平成 27 年 7 月 27 日

場所：熱田神宮（愛知県名古屋市）

対象：小学 1 ～ 3 年生 約 500 名

内容：講演「サルのはなし」

赤見理恵

⑥ 丸の内キッズジャンボリー 2015

日程：平成 27 年 8 月 11 日～ 8 月 14 日

場所：東京国際フォーラム（東京都千代田区）

対象：幼児、小学生、中学生および保護者 125,139 名（来場者総数）

内容：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院と
共同で「山の教室」出展

JMC コーナーの設置（パネル・標本・レプリカの展示）、Wao キャップ作り、
ワークショップ「山の教室講座」

「歯と骨のヒミツを探そう！」（新宅）

「オリジナル！自分も入った霊長類図鑑をつくろう！」（赤見）

松沢哲郎、赤見理恵、新宅勇太

⑦ PWS 東京フォーラム 2015

「ワイルドライフサイエンス：野生動物を知りたい、調べたい、守りたい！」

日程：平成 27 年 10 月 3 日

場所：日本科学未来館（東京都江東区）

対象：一般市民 199 名

内容：講演「「知りたい！」をみんなのものに～研究から始まる動物園の知のサイクル」
赤見理恵

⑧ あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク主催「さかえサイエンストーク」

日程：平成 27 年 10 月 29 日

場所：ボクモ（愛知県名古屋市）

対象：一般市民 約 30 名

内容：シリーズ「生命進化」キュレーターズ・トーク

第 5 回講演「新生代：霊長類の進化とヒトの誕生」

高野智

⑨ 半田市立幼稚園一斉研修講演会

日程：平成 27 年 11 月 20 日

場所：半田市立半田幼稚園（愛知県半田市）

対象：幼稚園教諭、保育士、小中学校教諭等 約 80 名

内容：講演「サルが教えてくれること」

赤見理恵

⑩ 平成 27 年度自然史学会連合講演会

日程：平成 27 年 11 月 22 日

場所：三重県総合博物館 MieMu（三重県津市）

対象：一般市民

内容：体験教室「骨パズル ～ヒトとチンパンジーの骨格をくらべてみよう～」

高野智

⑪ いきもにあ ブース出展

日程：平成 27 年 12 月 12 日、12 月 13 日

場所：京都市勧業館みやこめっせ（京都府京都市）

対象：一般市民

内容：標本・資料・グッズの展示

新宅勇太、早川卓志

(3) 地元、近隣の教育委員会や教員の集まりや研究会への参加

① 第 36 回数理の翼夏季セミナー 講師

日程：平成 27 年 8 月 15 日～8 月 19 日

場所：京都府京都市

早川卓志

② 半田市立幼稚園一斉研修講演会

日程：平成 27 年 11 月 20 日

対象：半田市の幼稚園職員

内容：講演「サルが教えてくれること」

赤見理恵

③ IBM ユーザー研究会

日程：平成 28 年 1 月 22 日

場所：大阪府大阪市

内容：講演「ヒトとは何か？ー類人猿ボノボにみるヒト社会の起源ー」

伊谷原一、赤見理恵

(4) シンポジウム等の受け入れ

① 2015 年第二回動物園研究会「動物園という博物館のあり方を考える」

日程：平成 27 年 9 月 12 日

講演「博物館としての動物園の機能」、収蔵庫見学ツアー

高野智

② 一般社団法人日本相続学会第 3 回研究大会

日程：平成 27 年 11 月 12 日～11 月 13 日

開会挨拶

松沢哲郎

JMC タイム講演

高野智

(5) シンポジウム等の共催

① 中部学院大学 公開講座

第 1 回：平成 26 年 7 月 30 日

「知の探検 さまざまなサル類の暮らしから人間を考える」

松沢哲郎

第 2 回：平成 28 年 1 月 21 日

「森のこころ 海のこころ 草原のこころ ーチンパンジー、イルカ、ウマから見た世界ー」

友永雅己

② 日本アフリカ学会第 52 回学術大会 公開講演会

「アフリカの自然と人の共生をめざして」

日程：平成 27 年 5 月 24 日

会場：犬山国際観光センター フロイデ

(6) 地元、近隣の学校訪問（誘致・広報活動）

犬山市を中心に、出前授業等の機会も利用して誘致の呼びかけ

(7) 社会貢献

① 日本人類学会 教育普及委員会委員

高野智

② あいちサイエンスフェスティバル 実行委員

高野智

③ 愛知県尾張北部地域生態系ネットワーク 幹事

高野智

④ 日本動物園水族館教育研究会 運営委員

赤見理恵

- ⑤ 愛知県高等学校キャリア教育推進事業地域推進会議 赤見理恵
- ⑥ NPO 法人市民 ZOO ネットワーク 理事 綿貫宏史朗
- ⑦ (公社) 日本動物園水族館協会 総務委員会倫理福祉部員 木村直人
- ⑧ (公社) 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会フクロテナガザル種別計画管理者
およびテナガザル類専門技術員 綿貫宏史朗
- ⑨ (公社) 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会クロシロエリマキキツネザル
種別計画管理者およびクロキツネザル個体群管理者 鏡味芳宏
- ⑩ (公社) 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会チンパンジーおよびマンドリル
専門技術員 奥村文彦

17. 他園館への博物館資料の貸出

(1) 国立科学博物館

目的：特別展「大アマゾン展」での展示

貸出資料：エンペラータマリン、クロホエザル、マンクサキなど 剥製 9 点

期間：平成 27 年 3 月 3 日～平成 27 年 6 月 19 日

(2) 牛の博物館

目的：企画展「ウッキウキ！サル展」での展示

貸出資料：ワオキツネザルなど 写真資料 21 点

期間：平成 27 年 11 月 28 日～平成 28 年 1 月 31 日

(3) 多摩動物公園

目的：申年特別展「あなたもサルの仲間」での展示

貸出資料：ゴールデンライオンタマリンなど 写真資料 12 点

期間：平成 27 年 12 月 3 日～平成 28 年 1 月 26 日

(4) 神戸市立王子動物園

目的：干支展「くらべてみよう人とサル」での展示

貸出資料：写真資料 62 点

期間：平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日

(5) 広島市安佐動物公園

目的：干支展「申・さる・サル～いろんなサルを見てみよう～」での展示

貸出資料：写真資料 27 点

期間：平成 27 年 12 月 12 日～平成 28 年 1 月 11 日

18. キュレーターによるレクチャー、ガイドツアーの実施

(1) 春季キュレーターズガイド

「しっぽの“すごい”を探しに行こう」

平成 27 年 4 月 11 日

新宅勇太

「新世界ザルの魅力」

平成 27 年 4 月 4 日、4 月 18 日、5 月 2 日、5 月 6 日、5 月 23 日、6 月 27 日

赤見理恵

「『日本でここだけ！』に会いに行こう」

平成 27 年 4 月 12 日、5 月 5 日、6 月 20 日

綿貫宏史朗

「サルの形と動きを調べよう」

平成 27 年 4 月 26 日、5 月 4 日、5 月 10 日

高野智

「テナガザルに親しもう」

平成 27 年 4 月 29 日、6 月 21 日

綿貫宏史朗

「なぜその名前？ サルの学名の話」

平成 27 年 5 月 3 日、5 月 9 日、5 月 30 日、6 月 6 日

新宅勇太

「見に行こう、サルたちの食卓」

平成 27 年 5 月 16 日、6 月 13 日

早川卓志

「モンキーセンターの標本庫を探検してみよう」

平成 27 年 5 月 24 日、6 月 7 日

高野智

(2) 夏季キュレーターズトーク

「骨から知る歯と食べ物の関係」

平成 27 年 7 月 4 日、8 月 13 日、8 月 30 日

高野智

「黄金のサル！？ ゴールデンライオンタマリンのおはなし」

平成 27 年 7 月 5 日、7 月 11 日、8 月 22 日、9 月 5 日、9 月 6 日

赤見理恵

「サルって何の仲間？ 哺乳類の進化をたどる」

平成 27 年 8 月 1 日、8 月 15 日、9 月 23 日、9 月 26 日

新宅勇太

「野生のサルが暮らす森で暮らす ―フィールド研究の魅力をご紹介します！」

平成 27 年 8 月 2 日、8 月 29 日

早川卓志

「テナガザルよもやま話」

平成 27 年 8 月 8 日、8 月 14 日、8 月 16 日、9 月 19 日、9 月 20 日

綿貫宏史朗

「好き嫌いの起源！？ サルの味覚の進化と遺伝子の関係」

平成 27 年 9 月 21 日、9 月 22 日

早川卓志

(3) 秋季キュレーターズガイド・トーク

「骨から知るテナガザルのひみつ」

平成 27 年 10 月 3 日、10 月 1 日、11 月 15 日

高野智

「サルの赤ちゃんをさがそう！」

平成 27 年 10 月 4 日、10 月 31 日、11 月 7 日

赤見理恵

「カラフルなサル、地味なサル ～オナガザルの仲間の多様性」

平成 27 年 10 月 10 日

新宅勇太

「コンゴ・マレボの森のボノボ」

平成 27 年 10 月 18 日、11 月 14 日

新宅勇太

「『適応放散』とは何か？ ～新世界ザルから学ぶ進化の不思議～」

平成 27 年 10 月 25 日、11 月 21 日、11 月 23 日

早川卓志

「テナガザルに親しもう」

平成 27 年 11 月 3 日、11 月 28 日、11 月 29 日

綿貫宏史朗

(4) 申年企画 キュレーターズトーク「七福猿と三賢人リレートーク」

「ゴールデンマンガベイ ～謹賀新年！金色・銀色のサル、珍しいサル～」

平成 28 年 1 月 1 日、2 月 11 日

綿貫宏史朗

「ヨザル ～夜猿神社に祀られたサルのひみつ」

平成 28 年 1 月 2 日、2 月 14 日

新宅勇太

「ワオキツネザル ～シマシマしっぽと不思議の島マダガスカル～」	
平成 28 年 1 月 3 日、2 月 7 日	赤見理恵
「トクモンキー ～アジアに広がるマカクの仲間～」	
平成 28 年 1 月 9 日、2 月 13 日	新宅勇太
「ニシローランドゴリラ ～『お父さん』って何だろう？～」	
平成 28 年 1 月 10 日、2 月 6 日	高野智
「ハヌマンランゲール ～ベジタリアンな戦士の素顔～」	
平成 28 年 1 月 11 日	赤見理恵
「チンパンジー ～賢くて長生き！アフリカの進化の隣人～」	
平成 28 年 1 月 16 日、2 月 21 日	早川卓志
「ヤクニホンザル ～日本人の暮らしとともにあるニホンザルの秘密～」	
平成 28 年 1 月 17 日、2 月 20 日	早川卓志
「マントヒヒ ～草原を駆ける神聖なサル～」	
平成 28 年 1 月 23 日、2 月 27 日	高野智
「フクロテナガザル ～受験シーズン到来！落ちないサルの落ちないワケ～」	
平成 28 年 1 月 24 日、2 月 28 日	綿貫宏史朗

(5) 平成 28 年度春季キュレーターズガイド（平成 27 年度開催分）

「標本庫を探検してみよう」	
平成 28 年 3 月 5 日、3 月 26 日	高野智
「テナガザルに親しもう」	
平成 28 年 3 月 6 日、3 月 21 日	綿貫宏史朗
「アマゾンの新常識！？」	
平成 28 年 3 月 19 日	赤見理恵

19. 動物園イベント

(1) 常時受け付けの体験イベント

- ① ペーパークラフト「Wao キャップ」

(2) 通年イベント

- ① エンリッチメント体験（～平成 28 年 2 月）
土曜日に有料にて開催、フィーダーの作成と行動観察
- ② サルのおやつ作り体験（～平成 27 年 12 月）
日曜・祝日に有料にて開催
- ③ 飼育員と一緒におやつを作ろう（平成 28 年 3 月～）
土曜・日曜・祝日に有料にて開催
- ④ スポットガイド 毎日数回開催
- ⑤ 飼育員と行動観察 不定期開催
- ⑥ 類人猿のディナータイム アフリカセンターにて毎日夕方開催

(3) 日本モンキーセンター設立 60 周年記念イベント

①「チャレンジ！ Wao マスター ～ワオキツネザル 60 頭を覚えよう～」

ワオキツネザルの個体紹介イベント

開催日：平成 28 年 3 月～ 12 月の第 4 日曜日 14:00 ～

(4) 冬の風物詩 たき火にあたるサル

期間：平成 27 年 12 月 22 日～平成 28 年 2 月 28 日の土・日・祝

時間：11:30 ～ 14:00

① ホカホカおイモタイム

日時：たき火にあたるサルの開催日 14:00 ～

② 日程限定！おイモの試食（来園者の方の試食会）

日程：平成 27 年 12 月 22 日、12 月 23 日、12 月 26 日、12 月 27 日、12 月 31 日、

平成 28 年 1 月 1 日～ 1 月 11 日（13 日間）

時間：14:00 過ぎ（ホカホカおイモタイム終了後）

(5) 申年関連特別イベント・正月イベント

① 夜猿神社 七福猿と三賢人めぐり

ビジターセンター内に夜猿神社を設置

七福猿（ヨザル・ヤクニホンザル・マントヒヒ・ゴールデンマンガベイ・

ハヌマンラングール・トクモンキー・ワオキツネザル）

三賢人（フクロテナガザル・ニシローランドゴリラ・チンパンジー）を紹介

各キュレーターが 1 種ずつ担当する「キュレーターズトーク七福猿と三賢人リレー
トーク」の実施

② 特集展示「申年縁起物展」

③ サルにお年玉 ～一頭一頭に小さな幸せ～

特製フィーダーなどを使ったお年玉

1 月 1 日 アフリカセンター

1 月 7 日 モンキースクランブル

1 月 2 日 南米館屋内展示室

1 月 8 日 アジア館

1 月 3 日 Wao ランド

1 月 9 日 Wao ランド mini

1 月 4 日 リスザルの島

1 月 10 日 南米館屋外展示

1 月 5 日 アフリカ館

1 月 11 日 ヒヒの城

1 月 6 日 マダガスカル館

④ さるみくじ

⑤ 縁起物「奇跡のミカン」の配布

日時：平成 28 年 1 月 1 日～ 1 月 3 日

場所：ビジターセンター前

10:00 より各日先着 50 個を配布

⑥ モンキーセンターからのお年玉♪

末尾「36」「8936」の年賀葉書持参者にプレゼント

(6) 特定日開催

① 公益財団法人化記念 無料開放日

平成 27 年 4 月 1 日

② チンパンジー「マモル」誕生日会

平成 27 年 7 月 25 日

- | | |
|---|---|
| ③ シロテテナガザル「ジョージ」誕生日会 | 平成 27 年 8 月 8 日 |
| ④ フクロテナガザル「メロン」誕生日会 | 平成 27 年 9 月 5 日 |
| ⑤ ヤギのメェメェ（命名）式 | 平成 27 年 10 月 3 日 |
| ⑥ 動物慰霊祭 | 平成 27 年 10 月 17 日 |
| ⑦ 国際テナガザルの日 記念イベント
トーク（担当：打越万喜子）
テナガザルものしり〇×クイズ
フクロテナガザル「スイカ」誕生日会 | 平成 27 年 10 月 24 日 |
| ⑧ サルのおやつ作り体験（Wao ランド）
クリスマス Ver.
バレンタイン Ver.
ひな祭り Ver.
ホワイトデー Ver.. | 平成 27 年 12 月 23 日
平成 28 年 2 月 14 日
平成 28 年 2 月 28 日
平成 28 年 3 月 13 日 |
| ⑨ KIDSZOO 〇×クイズ | 平成 28 年 3 月 19 日・3 月 20 日・3 月 26 日・3 月 27 日 |

(7) 募集型イベント

- ① ワイルドサマーキャンプ（参加費 10,000 円）
日程：平成 27 年 7 月 28 日～29 日 1泊2日
参加者：小学校 3 年生～中学校 2 年生 20 名
内容：レクチャー・ガイドツアー・飼育体験・エンリッチメント体験・
園内でのテント宿泊・早朝動物観察など
- ② ユニー&モンキーセンター モンキーサマースクール（株）ユニーとの共催
日程：平成 27 年 8 月 17 日～8 月 18 日 1泊2日
参加者：小学校 4 年生～6 年生 24 名
内容：レクチャー・ガイドツアー・飼育体験・エンリッチメント体験・
石器作り体験など

VI 出版

1. 英文学術雑誌「PRIMATES」の発行

Volume 56	Number 2
	Number 3
	Number 4
Volume 57	Number 1

2. 平成 26 年度財団法人日本モンキーセンター年報の発行

平成 28 年 1 月 25 日発行

3. 第 60 回プリマーテス研究会記録集の発行

平成 28 年 2 月 29 日発行

VII 飼育・展示および収集・保存

1. 各種環境エンリッチメントへの取り組み

2. KIDSZOO でのふれあい展示等の開発

(1) 特別展示「夜の世界」

平成 27 年 7 月 19 日～9 月 27 日

3. 収集

(1) サル類

交換 1 種 1 頭

内訳：名古屋市東山動物園

ブラッサグエノン

Cercopithecus negelectus

1 頭

無償譲渡 2 種 2 頭

内訳：宇部市ときわ動物園

ハヌマンランゲール

Semnopithecus entellus

1 頭

千葉市動物公園

ショウギャラゴ

Galago senegalensis

1 頭

(2) その他動物

交換 1 種 2 頭

内訳：名古屋市東山動物園

シバヤギ

Capra hircus

2 頭

無償譲渡 1 種 5 頭

内訳：個人

カイロキンイロトゲマウス

Acomys cahirinus

5 頭

(3) 剥製標本

0 点

(4) 毛皮・仮剥製標本

4 点

(5) 骨格標本

30 点

(6) 脳液浸標本

34 点

(7) 臓器液浸標本

34 点

(8) 全身液浸標本

12 点

(9) 複製資料

2 点

(10) 図書

書籍

18 点

逐次刊行物

701 点

(11) 民俗資料

0 点

4. 出産

サル類

17 種

74 頭（アビシニアコロブス、ワオキツネザル等）

5. 移出

(1) サル類

ブリーディングローン 6 種 17 頭

内訳：おびひろ動物園	マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	1 頭
札幌市円山動物園	マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	1 頭
浜松市動物園	コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	1 頭
	マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	1 頭
NIFREL	ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	10 頭
静岡市立日本平動物園	シロガオマーモセット <i>Callithrix geoffroyi</i>	1 頭
市川市動植物園	アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	1 頭
千葉市動物公園	ピグミーマーモセット <i>Cebuella pygmaea</i>	1 頭

交換 2 種 11 頭

内訳：伊豆シャボテン公園	ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	10 頭
名古屋市東山動物園	レッサースローロリス <i>Nycticebus pygmaeus</i>	1 頭

無償譲渡 3 種 13 頭

内訳：静岡市立日本平動物園	ニホンザル <i>Macaca fuscata fuscata</i>	2 頭
(所有権の移動は平成 26 年 12 月 1 日付)		
宇部市ときわ動物園	ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	10 頭
千葉市動物公園	シロガオマーモセット <i>Callithrix geoffroyi</i>	1 頭

飼育寄託管理 保管換え 1 種 3 頭

内訳：大阪市天王寺動物園	レッサースローロリス <i>Nycticebus pygmaeus</i>	1 頭
名古屋市東山動物園	レッサースローロリス <i>Nycticebus pygmaeus</i>	1 頭
静岡市立日本平動物園	レッサースローロリス <i>Nycticebus pygmaeus</i>	1 頭

(2) その他動物

交換 1 種 1 頭

内訳：静岡市立日本平動物園	フタユビナマケモノ <i>Choloepus didactylus</i>	1 頭
---------------	--	-----

飼育寄託管理 保管換え 1 種 1 頭

内訳：世界淡水魚園水族館
アクアトトギふ

オオアタマガメ

Platysternon megacephalum

1 頭

6. 保存（平成 28 年 3 月 31 日現在）

(1)	生きたサル個体	65 種	920 頭
(2)	生きたその他動物	24 種	163 点
(3)	剥製標本		254 点
(4)	骨格標本		4,284 点
(5)	脳液浸標本		2,363 点
(6)	臓器液浸標本		3,116 点
(7)	全身液浸標本		1,443 点
(8)	寄生虫標本		474 点
(9)	毛皮・仮剥製標本		234 点
(10)	複製資料		32 点
(11)	図書		9,762 点
(11)	民俗資料		4,723 点

VIII 連携研究・研修の受け入れ

1. 連携研究の受入

連携研究番号：2015001

申請者：山梨裕美（京都大学）

題目：飼育下単独性霊長類における仲間の存在が福祉に及ぼす影響
～スローロリスを対象として～

連携研究番号：2015002

申請者：仲澤伸子（京都大学）

題目：タンザニア・マハレ山塊国立公園におけるヒョウの食性に関する研究

連携研究番号：2015003 （2014004 の継続）

申請者：山下友子・平松千尋・杉野強・飯田州人（九州大学）

題目：霊長類における音声コミュニケーションの進化および発達過程の研究

連携研究番号：2015004 （2014008 の継続）

申請者：林美里（京都大学）・川上文人（京都大学）・Claire Watson（京都大学）・

Anne-Claire Idoux（Ecole Nationale Veterinaire de Toulouse）・

市野悦子（京都大学）・平栗明美（京都大学）・有賀菜津美（京都大学）・

友永雅己（京都大学）

題目：飼育下チンパンジーにおける子どもの発達および母子関係について

連携研究番号：2015005

申請者：諏訪忍（日本獣医生命科学大学）

題目：飼育下のチンパンジーの飼料消化率と尿中成分による栄養判定法の検討

連携研究番号：2015006

申請者：斎藤成也（国立遺伝学研究所）・Nadeeka Hettiarachchi（総合研究大学院大学）

題目：Toque Macaque のゲノム解析

連携研究番号：2015007

申請者：糸井川壮大（京都大学）

題目：ワオキツネザルの繁殖期における嗅覚コミュニケーションの解明

連携研究番号：2015008

申請者：川口ゆり（京都大学）

題目：フサオマキザルにおける他種の幼児顔に対する知覚

連携研究番号：2015009

申請者：伊藤毅（琉球大学）

題目：ヒヒ族霊長類における頭蓋形態の進化的意義に関する研究

連携研究番号：2015010

申請者：木下こづえ・印藤頼子（京都大学）

題目：チンパンジー（*Pan troglodytes*）における精子運動率の時間および季節変化に関する基礎的研究

連携研究番号：2015011

申請者：清水大輔（京都大学）・矢野航（朝日大学）

題目：チンパンジーにおける口腔細菌叢の伝播

連携研究番号：2015012

申請者：岡本宗裕（京都大学）

題目：ケナガクモザル由来ギョウチュウの分子系統解析

連携研究番号：2015013

申請者：一柳健司（九州大学）

題目：霊長類における生殖細胞小分子 RNA の進化

連携研究番号：2015014

申請者：黒田敏教（愛知文教大学）

題目：デグー（*Octodon degus*）を対象とした実験的行動分析

連携研究番号：2015015

申請者：Richard Meindl (Kent State University)

題目：Appendicular and axial skeletal anatomy of atelid and colobine primates

連携研究番号：2015016

申請者：大島一彦・松村研哉（長浜バイオ大学）

題目：霊長類のみに存在する新規遺伝子 PIPSL の進化や機能の解明

連携研究番号：2015017

申請者：橋戸南美（京都大学）

題目：コロブス亜科における味覚受容体の遺伝的多様性解析

連携研究番号：2015018

申請者：今井啓雄（京都大学）・Hee-Eun Lee（釜山国立大学）

題目：ヒト内在性レトロウイルスの分子生物学

連携研究番号：2015019 (2014013 の継続)

申請者：酒井朋子（慶應義塾大学）・畑純一（理化学研究所）・

太田裕貴（東京慈恵会医科大学）・小川優樹（東京慈恵会医科大学）

題目：拡散スペクトラム MRI を用いた霊長類の神経回路構造の比較研究

連携研究番号：2015020

申請者：矢野航（朝日大学）・清水大輔（京都大学）

題目：単独性原猿類スローロリスにおける歯周病菌感染経路の解明

2. 標本資料の貸出（連携研究）

連携研究番号：2014013 ならびに 2015019

貸出標本：ニホンザル、ピグミーマーモセットほか、脳標本 4 点

期間：平成 26 年 12 月 9 日～平成 27 年 12 月 10 日

貸出標本：トクモンキー、ヨザルほか、脳標本 4 点、全身液浸標本 1 点

期間：平成 28 年 2 月 15 日～貸出中

連携研究番号：2015009

貸出標本：タイワンザル 骨格標本 7 点

期間：平成 27 年 9 月 16 日～9 月 22 日

3. 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院実習・セミナー

① インターラボ

内容：レクチャー、バックヤード見学、園内見学

平成 26 年 4 月 11 日

33 名

② 動物園・博物館実習

内容：レクチャー、エンリッチメント実習、飼育実習、解剖見学、標本実習、
教育プログラム見学、来園者調査 など

前期：平成 27 年 7 月 14 日～7 月 17 日

12 名

後期：平成 28 年 2 月 6 日～2 月 9 日

4 名

4. 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院

高大連携プロジェクト現地実習

① 愛知県立明和高等学校

内容：キュレーターによる少人数実習

平成 27 年 7 月 16 日

20 名

② 岐阜県立関高等学校

内容：レクチャー、ロコモーション観察実習

平成 27 年 8 月 11 日

14 名

③ 関西大倉高等学校・大阪府立北野高等学校

内容：園内施設見学

平成 27 年 8 月 17 日

関西大倉高校 5 名、北野高校 4 名

5. 飼育研修の受け入れ 計 9 名

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| ① 大宮国際動物専門学校 国際海洋飼育学科 | |
| 平成 27 年 5 月 31 日～6 月 20 日 | 2 年生 1 名 |
| ② 海遊館 (NIFREL) | |
| 平成 27 年 6 月 25 日～6 月 29 日 | 1 名 |
| ③ 酪農学園大学 獣医学部獣医学科 | |
| 平成 27 年 8 月 27 日～9 月 9 日 | 2 年生 1 名 |
| ④ 岐阜大学 生産環境科学課程応用動物科学コース | |
| 平成 27 年 9 月 14 日～9 月 27 日 | 3 年生 1 名 |
| ⑤ 海遊館 (NIFREL) | |
| 平成 27 年 10 月 18 日～10 月 19 日 | 1 名 |
| ⑥ 名古屋コミュニケーションアート専門学校 動物園公務員専攻 | |
| 平成 27 年 12 月 7 日～12 月 20 日 | 2 年生 1 名 |
| ⑦ 名古屋コミュニケーションアート専門学校 動物園・動物飼育専攻 | |
| 平成 28 年 2 月 22 日～3 月 6 日 | 1 年生 1 名 |
| 平成 28 年 3 月 3 日～3 月 15 日 | 1 年生 1 名 |
| ⑧ Hansenberg Agricultural College | |
| 平成 28 年 3 月 14 日～4 月 21 日 | 3 年生 1 名 |

6. 職場体験・インターンシップの受け入れ 計 14 件 69 名

- | | |
|-----------------------------|------------|
| ① 東京横浜独逸学園 | |
| 平成 27 年 4 月 10 日 | 1 名 |
| ② 大口町立大口中学校 職場体験 | |
| 平成 27 年 5 月 25 日～5 月 26 日 | 1、2 年生 8 名 |
| ③ 犬山市立東部中学校 職場体験 | |
| 平成 27 年 5 月 27 日～5 月 29 日 | 2 年生 8 名 |
| ④ 犬山市立城東中学校 職場体験 | |
| 平成 27 年 6 月 18 日～6 月 19 日 | 2 年生 8 名 |
| ⑤ 扶桑町立扶桑中学校 職場体験 | |
| 平成 27 年 8 月 4 日～8 月 6 日 | 2 年生 5 名 |
| ⑥ 愛知県立古知野高等学校 インターンシップ | |
| 平成 27 年 8 月 20 日～8 月 21 日 | 2 年生 8 名 |
| ⑦ 岐阜県立加茂農林高等学校 インターンシップ | |
| 平成 27 年 8 月 22 日～8 月 23 日 | 2 年生 3 名 |
| ⑧ 愛知県立犬山南高等学校 職場体験 | |
| 平成 27 年 8 月 24 日 | 1、2 年生 6 名 |
| ⑨ 岐阜県立土岐紅稜高校 職場体験 | |
| 平成 27 年 10 月 7 日～10 月 9 日 | 1 年生 1 名 |
| ⑩ 犬山市立犬山中学校 職場体験 | |
| 平成 27 年 10 月 21 日～10 月 22 日 | 2 年生 5 名 |
| ⑪ 西尾市立福地中学校 職場体験 | |
| 平成 27 年 10 月 21 日、10 月 23 日 | 2 年生 2 名 |

- ⑫ 各務原市立中央中学校 職場体験
平成 27 年 10 月 28 日～10 月 29 日 2 年生 8 名
- ⑬ 各務原市立緑陽中学校 職場体験
平成 27 年 11 月 5 日～11 月 6 日 2 年生 5 名
- ⑭ 豊田市立猿投台中学校 職場体験
平成 27 年 11 月 11 日～11 月 13 日 2 年生 1 名

7. 博物館実習の受け入れ 計 4 校 13 名

- ① 岐阜大学
平成 27 年 7 月 22 日～8 月 2 日 4 年生 1 名
- ② 名古屋芸術大学
平成 27 年 8 月 22 日～9 月 4 日 4 年生 2 名
- ③ 愛知教育大学
平成 27 年 9 月 3 日～9 月 14 日 4 年生 2 名
平成 27 年 10 月 8 日～10 月 18 日 4 年生 3 名
平成 27 年 10 月 22 日～11 月 日 4 年生 2 名
平成 27 年 11 月 5 日～11 月 20 日 4 年生 2 名
- ④ 帝京科学大学
平成 27 年 10 月 1 日～10 月 12 日 4 年生 1 名

IX 会議・研修

1. (公社) 日本動物園水族館協会

(1) 平成 27 年度 通常総会

日程：平成 27 年 5 月 28 日～5 月 29 日

会場：姫路市立動物園

伊谷原一

(2) 総務委員会倫理福祉部会

① 平成 27 年度第 1 回倫理福祉部会

日時：平成 27 年 6 月 17 日

会場：日本動物園水族館協会会議室（東京都台東区）

木村直人

② 平成 27 年度第 2 回倫理福祉部会

日時：平成 27 年 9 月 2 日

会場：日本動物園水族館協会会議室（東京都台東区）

木村直人

③ 平成 27 年度第 3 回倫理福祉部会（拡大会議）

日時：平成 28 年 1 月 27 日

会場：日本動物園水族館協会会議室（東京都台東区）

木村直人

(3) 生物多様性委員会

① テナガザル合同計画推進会議

日時：平成 27 年 7 月 30 日

会場：横浜市立金沢動物園（神奈川県横浜市）

打越万喜子、綿貫宏史朗、廣澤麻里

② 霊長類作業部会ならびにチンパンジー計画推進会議

日時：平成 27 年 10 月 20 日～ 10 月 21 日

会場：恩賜上野動物園（東京都台東区）

綿貫宏史朗、鏡味芳宏、奥村文彦

③ オランウータン計画推進会議

日時：平成 28 年 2 月 9 日

会場：名古屋市東山動物園（愛知県名古屋市）

綿貫宏史朗

(4) 第 19 回種保存会議

日時：平成 27 年 11 月 6 日～ 11 月 8 日

会場：熊本市動植物園（熊本県熊本市）

綿貫宏史朗、鏡味芳宏

2. (公社) 日本動物園水族館協会 中部ブロック協議会

(1) 中部ブロック園館長会議

① 平成 27 年度第 2 回中部ブロック園館長会議

日程：平成 28 年 2 月 3 日～ 2 月 4 日

会場：あわしまマリンパーク（静岡県沼津市）

伊谷原一

(2) 中部ブロック獣医師研究会

① 第 140 回獣医師研究会

日程：平成 27 年 6 月 10 日～ 6 月 11 日

会場：いしかわ動物園（石川県能美市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

岡部直樹

② 第 141 回獣医師研究会

日程：平成 27 年 9 月 9 日～ 9 月 10 日

会場：名古屋港水族館（愛知県名古屋市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

岡部直樹

③ 第 142 回獣医師研究会

日程：平成 27 年 12 月 9 日～ 12 月 10 日

会場：名古屋市東山動物園

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

岡部直樹

④ 第 143 回獣医師研究会

日程：平成 28 年 3 月 9 日～ 3 月 10 日

会場：越前松島水族館（福井県坂井市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、動物の異動報告

岡部直樹

(3) 飼育技術者研修会

① 第 110 回中部ブロック飼育技術者研修会

日程：平成 27 年 6 月 8 日～ 6 月 9 日

会場：熱川バナナワニ園（静岡県賀茂郡東伊豆町）

石田崇斗

② 第 111 回中部ブロック飼育技術者研修会

日程：平成 27 年 12 月 10 日～ 12 月 11 日

会場：岡崎市図書館交流プラザ（愛知県岡崎市）

菊田恭介

3. 愛知県博物館協会

(1) 平成 27 年度愛知県博物館協会総会

日程：平成 27 年 6 月 26 日

会場：愛知県陶磁美術館（愛知県瀬戸市）

高野智

(2) 平成 27 年度愛知県博物館協会職員等研修会

日程：平成 27 年 11 月 11 日

会場：リニア・鉄道館（愛知県瀬戸市）

高野智

(3) 平成 27 年度愛知県博物館協会保存・修復部門研修会

日程：平成 27 年 12 月 12 日

会場：名古屋市博物館（愛知県名古屋市）

江藤彩子

4. KS-PRI-JMC 獣医師合同カンファレンス

① 第 8 回合同カンファレンス

日程：平成 27 年 4 月 28 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

症例紹介：アビシニアコロブスの胎子死亡、リスザルの外傷・頭皮欠損、

クチヒゲグエノンのエルシニア症、エンペラータマリンの胸水、

サンタレムマーモセットの慢性化膿性胆嚢炎 等

木村直人、岡部直樹

② 第 9 回合同カンファレンス

日程：平成 27 年 6 月 4 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

症例紹介：サンタレムマーモセットの多発性骨折、ワオキツネザルの貧血、

クロキツネザルの眼振

岡部直樹

③ 第 10 回合同カンファレンス

日程：平成 27 年 7 月 23 日

場所：京都大学霊長類研究所（TV 会議）

症例紹介：クロキツネザルの肝腫瘍、ワオキツネザルの溶血性貧血

木村直人、岡部直樹

④ 第 11 回合同カンファレンス

日程：平成 27 年 8 月 28 日

症例紹介：チンパンジーの頬の腫瘍

木村直人、岡部直樹

⑤ 第 12 回合同カンファレンス

日程：平成 27 年 10 月 21 日

症例紹介：ケナガクモザルの蟻虫寄生

木村直人、岡部直樹

⑥ 第 13 回合同カンファレンス

日程：平成 27 年 12 月 4 日

症例紹介：ワオキツネザルの鞭虫とダニ寄生、パタスモンキーの寄生虫卵、
ケナガクモザルの蟯虫寄生 木村直人、岡部直樹

⑦ 第 14 回合同カンファレンス

日程：平成 28 年 1 月 21 日

症例紹介：マンドリルの出血性腸炎、レッサースローロリスの歯科治療
木村直人、岡部直樹

⑧ 第 15 回合同カンファレンス

日程：平成 28 年 3 月 30 日

症例紹介：ヤクザルの大動脈拡張・血管壁肥厚・粥状硬化、
アビシニアコロブスの歯槽骨崩壊・根尖膿瘍 など
木村直人、岡部直樹

5. PRI-JMC 検討委員会

① 第 17 回 PRI-JMC 検討委員会

平成 27 年 4 月 7 日

松沢哲郎、伊谷原一、打越万喜子、高野智、赤見理恵、早川卓志

② 第 18 回 PRI-JMC 検討委員会

平成 27 年 7 月 1 日

松沢哲郎、伊谷原一、打越万喜子、高野智、赤見理恵

③ 第 19 回 PRI-JMC 検討委員会

平成 27 年 10 月 6 日

松沢哲郎、伊谷原一、打越万喜子、高野智、赤見理恵、早川卓志

④ 第 20 回 PRI-JMC 検討委員会

平成 27 年 12 月 1 日

松沢哲郎、伊谷原一、打越万喜子、高野智、赤見理恵、早川卓志

⑤ 第 21 回 PRI-JMC 検討委員会

平成 28 年 2 月 2 日

松沢哲郎、伊谷原一、打越万喜子、高野智、赤見理恵

6. その他

① 第 2 回京都大学野生動物研究センター連携園館チンパンジー将来計画会議

日程：平成 27 年 8 月 20 日

会場：京都大学野生動物研究センター（京都市左京区）

伊谷原一、綿貫宏史朗、奥村文彦

② 第 8 回京都大学野生動物研究センター連携園館連絡会議

日程：平成 27 年 10 月 2 日

会場：京都大学野生動物研究センター（京都市左京区）

伊谷原一、赤見理恵

③ 動物取扱責任者研修会

日程：平成 27 年 11 月 17 日

会場：北名古屋市勤労文化会館（愛知県北名古屋市）

木村直人

④ 生物多様性条約・ABS セミナー

日程：平成 27 年 12 月 8 日

会場：京都大学霊長類研究所（愛知県犬山市）

高野智、赤見理恵、新宅勇太、木村直人

⑤ 輸入サルの取扱い者に対する検疫・安全講習会

日程：平成 27 年 12 月 17 日

会場：関西国際空港（泉佐野市）

木村直人

⑥ 第 32 回全国飼育の集い

日程：平成 28 年 1 月 17 日～1 月 19 日

会場：多摩動物公園（東京都日野市）

田中ちぐさ、奥村太基

X 友の会

平成 26 年 4 月 1 日より募集開始

会員数：733 名（平成 28 年 3 月 31 日時点）

年会費：大人（高校生以上）3,000 円

小中学生 2,000 円

幼児（3 才以上）1,500 円

1. モンキーセンター友の会 NEWS LETTER の発行

Vol. 2-1（通巻第 3 号） 平成 27 年 9 月 15 日 発行

Vol. 2-2（通巻第 4 号） 平成 28 年 3 月 1 日 発行

2. 友の会のつどいの開催

(1) 第 3 回

日程：平成 27 年 10 月 11 日 13:00 ～ 16:00

内容：講演「サルと歩いた日本、ゴリラと歩いたアフリカ」

山極壽一（博物館長、京都大学総長）

秘蔵映像上映会&トーク

モンキーセンター活動報告

「ボルネオ生息地研修」 木村直人

「人工保育のシャマンが親元に帰るまで」 山田将也

「コンゴ民主共和国・マレボ地域のボノボの保全に向けて
～調査報告と今後の計画～」 新宅勇太

蔵出しオークション

参加者：約 80 名

XI 寄附活動

1. 平成 27 年度寄附受領

寄附金

法人からの寄附	6 件	163,350,000 円
個人からの寄附		3,315,857 円

物品寄附

個人・法人からの寄附	90 件以上	果物や野菜など動物の飼料 消防ホース、写真など
そのほか、葉野菜やおが粉の定期的な受領		

2. 受領した寄附による活動

- ① 植樹（アフリカセンターチンパンジー放飼場、アフリカセンター周辺、入園ゲート前など）
- ② 誕生日イベントの開催

XII 施設整備

1. 京都造形芸術大学と連携した無料休憩所改装

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| ① プレゼンテーションと園内見学 | 平成 27 年 6 月 28 日 |
| ② ワークショップ（無料休憩所の内装塗り替え・ピザ釜作成） | 平成 28 年 2 月 9 日 |
| ③ 無料休憩所の内装塗り替え | 平成 28 年 3 月 16 日 |

2. 施設改修・新規設置

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| ① ビジターセンター トイレ改修・屋上防水工事（竹中工務店） | 平成 27 年 7 月 6 日～8 月 17 日 |
| ② KIDSZOO スーパーハウスとカーポート（屋根）設置（何でも屋今井） | 11 月 24 日～12 月 29 日 |
| ③ バックヤード 焼却炉設置（DAITO） | 12 月 9 日～平成 28 年 1 月 19 日 |
| ④ リスザルの島 アドベンチャーコース設置 | 1 月 5 日～1 月 6 日 |
| ⑤ 駐車場ライン引き（グリーンテック若山） | 1 月 26 日～2 月 10 日 |
| ⑥ Wao ランド ワイルドゾーン設置 | 2 月 1 日～2 月 27 日 |
| ⑦ インターネット光回線工事（メイエレック） | 2 月 8 日～2 月 25 日 |
| ⑧ ビジターセンター裏 井戸掘削（所沢建築） | 2 月 26 日～3 月 28 日 |

3. その他施設修繕

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 アジア館寝室 蛍光灯修理（文化電気） | 平成 27 年 4 月 3 日 |
| 2 エコドーム 小窓設置・天井柵修理（増田鉄工） | 4 月 8 日～4 月 9 日 |
| 3 市水ポンプ修理（村上設備） | 4 月 10 日 |
| 4 KIDSZOO シバヤギ飼育施設準備 | 4 月 16 日～4 月 18 日 |
| 5 Wao ランド 観覧デッキ修理 | 4 月 17 日、4 月 26 日～4 月 28 日 |

6	モンキーバレイ 金網フェンス・パネル板点検・土止め補修	4月19日
7	無料休憩所前 屋根補修	4月19日～4月22日
8	バックヤード警報機修理 (ALSOK)	4月20日
9	クモザルの池 電柵張り替え	4月22日
10	アジア館 ニホンザル扉ガラス修理 (橋爪ガラス)	4月27日
11	バックヤード 乾燥炉修理 (エコ技研)	4月29日～
12	南米館 配水管修理 (村上設備)	4月29日、5月1日
13	ヒヒの城 寝室内蛍光灯交換	5月4日
14	テナガ舎 寝室天井溶接修理	5月8日
15	マダガスカル館 日除けやぐら設置	5月9日
16	Wao ランド パラソル修理	5月9日
17	Wao ランド mini デッキ修理	5月10日
18	クモザルの島 池周辺人止め柵補修	5月13日
19	KIDSZOO デッキ・受付台・柵の塗装	5月19日、5月28日～5月29日
20	モンキーバレイ 土止め	5月20日、5月22日
21	市水ポンプ電気制御板点検調整 (村上設備)	5月21日
22	アフリカ館 溶接修理 (増田鉄工)	5月25日
23	無料休憩所 看板撤去	5月27日
24	セミナーハウス白帝 蛍光灯配線工事 (文化電気)	6月1日
25	アジア館・ヒヒの城 溶接修理 (増田鉄工)	6月2日
26	ビッグループ 雲梯危険箇所取り外し	6月3日
27	アフリカ館 ダクト溶接修理 (増田鉄工)	6月8日
28	南米館哺育室 給湯器リモコン修理 (犬山燃料)	6月17日
29	アジア館下 配水管修理 (村上設備)	6月17日
30	Wao ランド前 休憩所設置	6月27日
31	アフリカセンター チンパンジー放飼場やぐら撤去 (何でも屋今井)	6月30日
32	電気キュービクル点検	7月8日
33	ビジターセンター裏 市水管破裂修理 (竹中工務店)	7月30日
34	ケヤキの森 市水管破裂修理 (村上設備)	7月31日
35	アフリカ館 溶接修理	8月24日
36	無線機修理 (メイエレック)	8月24日
37	バックヤード 隔離舎前蛍光灯交換	8月30日
38	ギボンハウス 放飼場フェンス 金網張り	8月30日
39	ヒヒの城 シュート修理	8月30日
40	バックヤード 収容棟蛍光灯、アフリカセンター 蛍光灯、 南米館 (哺育室) 蛍光灯スイッチ 取り替え (文化電気)	9月1日
41	電線に掛かった枝の撤去 (台風被害) (NTT・シーキューブ)	9月9日
42	ビジターセンター裏 市水管破裂修理 (竹中工務店)	9月10日
43	エコドーム 溶接補強	9月13日
44	アフリカセンター チンパンジー放飼場やぐら撤去	9月15日
45	ヒヒの城 シュート補修	9月15日
46	ビジターセンター裏 市水管補強 (竹中工務店)	9月16日
47	Wao ランド 観覧デッキ修理	9月16日、9月22日、10月3日

48	FA 暖房点検（今井設備・マルヨ）	9月16日、9月29日～9月30日
49	南米館 温水ボイラー点検（若松物産）	9月18日
50	山水ポンプ小屋 周辺電気点検（中部電力）	9月19日
51	アフリカセンター・南米館 エアーハンドリングユニット清掃（今井設備）	9月29日
52	アフリカセンター 温水ボイラー点検（今井設備、昭和江ネス）	9月30日
53	外周通路 電気メーター撤去（トーエネック）	10月2日
54	ビジターセンター前スロープ タイル補修	10月4日
55	ビジターセンター裏 アスファルト張り（竹中工務店）	10月5日
56	テナガ舎 溶接補強	10月9日
57	アジア館 シュート修理	10月10日
58	モンキーバレイ 樹木周り電気柵補修	10月11日
59	KIDSZOO デッキ階段修理	10月11日
60	リスザルの島 観覧デッキ修理	10月18日
61	ビジターセンター裏 市水管破裂修理（竹中工務店）	10月22日
62	外周通路（白帝前） 水道管修理（村上設備）	10月26日
63	オオスズメバチ駆除（白川住宅設備、マルヨ工業）	10月28日
64	バックヤード屋外収容棟 ストープ修理（ナフコ）	11月5日～11月18日
65	モンキーバレイ 放飼場内・周辺のアスファルト舗装	11月7日
66	Wao ランド デッキ修理	11月8日～11月9日
67	リスザルの島 デッキ修理	11月9日、11月13日～11月16日、11月20日
68	無料休憩所 蛍光灯点検	11月11日
69	アジア館 シュート修理	11月14日
70	モンキーバレイ 電柵補修	11月19日
71	ビジターセンター 自動扉点検整備	11月25日
72	ビジターセンター裏 配水ポンプ調整（村上設備）	12月1日
73	クモザルの島 池中電気柵修理	12月1日
74	バックヤード 浄化槽清掃	12月1日
75	アジア館 シュート修理	12月3日、12月6日
76	ビジターセンター 雨漏り跡補修（竹中工務店）	12月8日～12月9日
77	ケージ溶接（ハセハウス）	12月15日
78	アフリカセンター・南米館 地下タンク定期点検・機密検査	12月22日
79	火災報知器点検（ALSOK）	12月22日
80	ビジターセンター前 市水管漏水修理	平成28年1月9日
81	モンキーバレイ 金網溶接	1月15日
82	南米館旧夜行性室 整備（ガラス割り）	1月19日
83	ビジターセンター裏 雨樋工事（竹中工務店）	1月26日～1月28日
84	ヒヒの城下 バンブースライダー設置	1月27日～1月28日
85	KIDSZOO カーポート 雨漏り修理（何でも屋今井）	1月31日
86	楽猿 改修（竹中工務店）	2月1日～2月4日
87	ビジターセンター 床のワックスがけ（カバーオール）	2月3日
88	リスザルの島 柵の付け替え	2月3日～2月4日

89	南米館 バコティンヒーター定期点検	2月4日
90	バックヤード 収容棟屋外コンセント取り替え（文化電気）	2月10日
91	市水タンク清掃（名鉄環境造園）	2月10日
92	ビジターセンター裏 ポンプ修理（有川設備）	2月10日
93	ビジターセンター パーティション設置（竹中工務店）	2月17日
94	警備システム交換（ALSOK）	2月18日、2月19日、2月23日、2月24日
95	ニホンザルの丘 フェンス補強	2月19日
96	テナガ舎 溶接補強	2月19日
97	バックヤード 屋外収容棟ネット補強	2月21日
98	ビジターセンター裏 ポンプ修理	2月24日
99	KIDSZOO 蛍光灯・コンセント修理、ニホンザルの丘 電灯修理（文化電気）	2月26日
100	ギボンハウス前 トウクトウク停留所サークル工事（グリーンテック若山）	3月1日、3月2日
101	ビジターセンター裏 ポンプ交換（有川設備）	3月1日～3月3日
102	アフリカセンター 植樹（小嶋造園）	3月8日、3月9日
103	南米館旧夜行性室 エアコン撤去・蛍光灯交換（文化電気）	3月11日
104	アジア館 シュート溶接	3月13日
105	ビジターセンター裏 ポンプ設置	3月13日～3月15日
106	ギボンハウス横 トウクトウク停留所作成	3月13日～3月31日
107	浄化槽清掃	3月15日
108	アフリカ館 バッティコファエグエノン放飼場改修	3月15日
109	温水ボイラー点検（今井設備）	3月22日
110	KIDSZOO カーポート雨漏り修理（何でも屋今井）	3月30日

XIII その他

1. 学術部

(1) 教材開発のためのヒアリング

（千葉県千葉市・千葉市動物公園、東京都多摩市・多摩動物公園）

平成27年6月15日～6月16日

赤見理恵

2. 附属動物園部（飼育）

(1) 動物愛護管理法関係（愛知県動物保護管理センター）

① 特定動物飼養・保管増減届出書（平成26年度1月～3月分）、

特定動物飼養・保管許可申請書（35種分）、ならびに

特定動物飼養・保管変更許可申請書（アフリカ館）の提出

平成27年4月

② 特定動物飼養・保管増減届出書（平成27年度4月～6月分）の提出

平成27年7月

③ 特定動物飼養・保管及び動物取扱業変更届出書の提出

平成27年8月

④ 特定動物取扱責任者の氏名変更に伴う届出の提出

平成27年8月

⑤ 特定動物飼養・保管増減届出書の提出（平成 27 年度 7 月～ 9 月分）

平成 27 年 10 月

⑥ 特定動物飼養・保管増減届出書の提出（平成 27 年度 10 月～ 12 月分）

平成 28 年 1 月

⑦ 特定動物飼養・保管許可申請書の提出（2 種）

平成 28 年 3 月

(2) 外来生物法関係（環境省中部地方環境事務所）

① 特定外来生物飼養状況届出書の提出

平成 27 年 7 月

(3) その他

① 防火管理者変更届ならびに消防計画書の届出

平成 27 年 5 月 26 日

根本慧

② 宮島・野生サル調査（広島県廿日市市）

平成 27 年 6 月 3 日～ 6 月 5 日

根本慧、山田将也

平成 27 年 10 月 27 日～ 10 月 29 日

根本慧、菊田恭介

③ シバヤギ移動（愛知県名古屋市・東山動物園）

平成 27 年 9 月 18 日

堀込亮意、根本慧

④ 京都市動物園視察（京都府京都市）

平成 27 年 10 月 9 日

奥村文彦

⑤ NIFREL 内覧会（大阪府吹田市）

平成 27 年 11 月 16 日

綿貫宏史朗、田中ちぐさ

⑥ 京都大学霊長類研究所 脱出時対策訓練見学（愛知県犬山市）

平成 27 年 11 月 27 日

木村直人、坂口真悟、根本慧、杉浦直樹

⑦ 動物移動（千葉県千葉市・千葉市動物公園）

平成 27 年 12 月 21 日～ 12 月 22 日

綿貫宏史朗

3. 附属動物園部（動物病院、獣医療関係）

(1) 獣医療法関係

① 動物病院遺漏エックス線線量当量率測定の実施（テクノ中部）

平成 27 年 8 月・平成 28 年 2 月

(2) 麻薬及び向精神薬取締法関係

① 年間麻薬譲渡譲受届の提出（麻薬研究者分・麻薬施用者分）

（愛知県健康福祉部健康担当局医薬安全課および江南保健所）

平成 27 年 10 月・11 月

② 年間向精神薬輸入・輸出・製造届の提出（愛知県江南保健所）

平成 28 年 1 月

(3) 銃砲刀剣類所持等取締法関係

① 鉄砲所持許可申請書の提出（麻酔銃）

（犬山警察署生活安全課保安係）

平成 27 年 4 月

② 銃砲刀剣類所持許可証等返納届出書、譲渡等承諾書、ならびに

鉄砲所持許可申請書の提出（麻酔銃）

（犬山警察署生活安全課保安係）

平成 27 年 9 月

- ③ 産業用鉄砲保管状況報告書の提出（麻醉銃保管場所変更）
（犬山警察署生活安全課保安係）

平成 27 年 9 月

- ④ 麻醉銃検査（犬山警察署生活安全課保安係）

平成 28 年 3 月

(4) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係

- ① 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出（株式会社イープラネット）

平成 27 年 6 月

4. 事務部

- (1) 科学研究費助成事業公募要領等説明会（愛知県名古屋市・名城大学）

平成 27 年 9 月 3 日

根本真菜美

〈収益事業〉

I 動物園付帯事業の経営

1. ミュージアムショップの運営

場所：ビジターセンター内

取扱商品：書籍、民俗民芸品、美術作品、オリジナル雑貨、菓子類、委託販売品等

新規商品の開発：絵馬（申年企画）、オリジナルアイスクリーム、金太郎飴、
カレンダー（ゴリラ）、ソックス、シールなど

2. 自動販売機の設置

II 所有する土地・建物の賃貸事業

1. 犬山市大字犬山字官林他 土地建物

賃貸先：京都大学

目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究

2. 犬山市大字栗栖字古屋敷他 土地建物

賃貸先：京都大学

目的：霊長類の研究施設

3. 犬山市大字善師野字小野洞他 土地

賃貸先：京都大学

目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究

4. 犬山市大字犬山字官林（JMC 管理棟） 建物

賃貸先：京都大学

目的：教育等

5. 犬山市大字犬山字官林（JMC 管理棟） 建物

賃貸先：（株）名鉄インプレス

目的：日本モンキーパークの運営

6. 犬山市大字犬山字官林 駐車場施設

賃貸先：（株）名鉄インプレス

目的：駐車場

〈総務〉

I. 運営

1. 理事会、評議員会の開催

(1) 第5回公益財団法人日本モンキーセンター理事会

日程：平成27年5月7日

会場：名鉄グランドホテル（愛知県名古屋市）

(2) 第3回公益財団法人日本モンキーセンター評議員会

日程：平成27年6月24日

会場：公益財団法人日本モンキーセンター セミナーハウス白帝

(3) 第6回理事会

日程：平成28年2月29日

会場：名鉄グランドホテル（愛知県名古屋市）

(4) 第4回評議員会（みなし決議）

日程：平成28年3月15日

2. 各種契約（平成27年度新規）

(1) 業務委託

① 警備業務

総合警備保障株式会社

② 動物検査

株式会社モノリス

(2) 業務受託

① 販売業務（書籍）

株式会社大和出版

② 教育プログラム

岐阜県大垣市

(3) 賃貸借契約

① コインロッカー 設置場所貸付

グローリーサービス

② 高圧ガス容器

株式会社原田商店

II. 人事

1. 採用

平成27年4月1日付

附属動物園部

菊田恭介

奥村太基

大島悠輝

今井由香

平倉柊太郎

事務部

平成 27 年 4 月 25 日付
事務部

小川冴奈

平成 27 年 7 月 1 日付
附属動物園部

三井桃依

平成 27 年 9 月 6 日付
学術部

桜木美穂

平成 27 年 12 月 1 日付
事務部

浅沼龍希

平成 27 年 12 月 22 日付
事務部

浅野晴彦

2. 着任

平成 27 年 4 月 1 日付
学術部長代理
アドバイザー

友永雅己（京都大学霊長類研究所）
森村成樹（京都大学野生動物研究センター）
野上悦子（京都大学野生動物研究センター）
打越万喜子（京都大学霊長類研究所）
早川卓志（京都大学霊長類研究所）
廣澤麻里（京都大学野生動物研究センター）

学術部 研究教育室
附属動物園部

3. 退職

平成 27 年 7 月 15 日付
事務部

日下征二

平成 27 年 7 月 31 日付
事務部

栗田恵美子

平成 27 年 10 月 22 日付
学術部 社会普及室

加藤章

平成 28 年 3 月 31 日付
附属動物園部

廣川百恵
辻内祐美
浅野晴彦

中尾汐莉

事務部

III. 入場人員

1. 月別入場人員数

入園区分	有料		無料	合計	開園日数
	一般	団体			
平成 27 年 4 月	7,131	1,387	1,674	10,192	23 日間 (1 日は開園)
5 月	17,293	4,305	2,542	24,140	27 日間 (13 日、20 日は開園)
6 月	6,743	185	1,298	8,226	21 日間
7 月	3,335	315	761	4,411	22 日間
8 月	5,752	326	926	7,004	25 日間 (11 日、12 日は開園)
9 月	11,025	1,153	1,849	14,027	24 日間 (22 日、23 日、29 日、 30 日は開園)
10 月	10,531	5,736	2,357	18,624	31 日間
11 月	10,078	2,008	1,744	13,830	24 日間 (4 日は開園)
12 月	7,903	123	1,198	9,224	21 日間
平成 28 年 1 月	19,805	43	2,308	22,156	22 日間 (5 日、6 日は開園)
2 月	5,644	265	923	6,832	12 日間
3 月	12,261	1,331	2,120	15,712	26 日間 (22 日、23 日、29 日、 30 日は開園)
合計	11,7501	17,177	19,700	154,378	278 日間

※休園日：祝日を除く火曜・水曜。

ただし 10 月は休園日なし、1 月最終週から 2 月第 3 週の間は平日全てが休園日。

(参考) 過去の年間入場人員数の推移(平成 25 年度までの数値は遊園地日本モンキーパークとの総計)

年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員
平成 6 年	905,624	平成 13 年	905,169	平成 20 年	725,870
7 年	894,152	14 年	798,353	21 年	604,306
8 年	1,035,509	15 年	711,889	22 年	595,391
9 年	897,663	16 年	776,068	23 年	560,920
10 年	844,804	17 年	594,590	24 年	562,465
11 年	774,709	18 年	734,906	25 年	548,045
12 年	830,102	19 年	773,256	26 年	147,523

IV. その他

1. 訓練の実施

(1) 大型類人猿脱出時対策訓練

① 捕獲訓練

平成 27 年 12 月 3 日

② 招集訓練

平成 27 年 3 月 18 日

(2) 初期消火訓練

平成 27 年 6 月 30 日

(3) 消防避難誘導訓練・放水訓練

平成 28 年 12 月 16 日

〈資料〉

I 標本・民俗資料

1. 骨格・液浸・剥製・毛皮標本

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	4	7	7	1	4	0
<i>Microcebus murinus</i>	チビネズミキツネザル	4	7	7	1	4	0
Lemuridae	キツネザル科	60	59	48	67	9	5
<i>Eulemur fulvus</i>	ブラウンキツネザル	0	0	0	2	0	0
<i>Eulemur macaco</i>	クロキツネザル	6	8	6	8	0	0
<i>Eulemur mongoz</i>	マンガースキツネザル	6	7	4	0	3	2
<i>Lemur catta</i>	ワオキツネザル	31	27	21	30	4	3
<i>Varecia variegata</i>	エリマキキツネザル	16	17	17	27	2	0
Lemuridae sp.		1	0	0	0	0	0
Galagidae	ギャラゴ科	32	40	24	23	7	4
<i>Galago senegalensis</i>	ショウギャラゴ	26	28	20	17	4	3
<i>Galago demidoff</i>	コビトギャラゴ	0	2	0	0	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオギャラゴ	5	9	4	6	3	1
Galagidae sp.		1	1	0	0	0	0
Lorisidae	ロリス科	65	76	54	35	9	4
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	7	9	6	1	3	0
<i>Nycticebus bengalensis</i>	ベンガルスローロリス	1	3	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スローロリス	41	32	13	4	3	3
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	10	23	24	28	0	0
<i>Perodicticus potto</i>	ポト	5	9	8	2	3	1
Lorisidae sp.		1	0	0	0	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	2	5	5	2	3	4
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	2	5	5	2	3	4
Cebidae	オマキザル科	852	811	668	478	58	44
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルジモンキー	15	18	13	13	2	3
<i>Callithrix argentata</i>	シルバーマーモセット	25	27	19	4	3	2
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	29	37	33	11	3	0
<i>Callithrix humeralifera</i>	サンタレムマーモセット	9	11	11	17	0	1
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	137	114	89	65	2	7
<i>Callithrix penicillata</i>	クロミミマーモセット	35	43	42	35	2	1
<i>Calithrix</i> sp.		5	0	0	0	0	0
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	81	85	78	78	7	6
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールデンライオンタマリン	17	16	9	6	7	3
<i>Saguinus bicolor</i>	フタイロタマリン	2	2	2	0	1	0
<i>Saguinus fuscicollis</i>	サドルバックタマリン	7	5	1	3	1	0
<i>Saguinus geoffroyi</i>	ジェフロイタマリン	11	11	10	0	1	0
<i>Saguinus imperator</i>	エンペラータマリン	5	5	5	5	2	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	35	36	31	18	3	1
<i>Saguinus leucopus</i>	シロアシタマリン	8	9	6	0	3	0

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	13	15	15	5	2	0
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	30	33	31	23	2	2
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	62	53	47	22	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシパンシェ	101	93	80	50	2	4
<i>Saguinus weddelli</i>	ウェッデルタマリン	11	9	9	9	2	2
<i>Saguinus</i> sp.		8	0	0	0	0	0
<i>Cebus albifrons</i>	シロガオオマキザル	8	8	9	8	1	1
<i>Cebus apella</i>	フサオマキザル	17	16	9	19	2	0
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	10	11	15	7	1	1
<i>Cubus nigrivittatus</i>	ナキガオオマキザル	1	2	1	5	0	0
<i>Cebus</i> sp.		4	0	0	0	0	0
<i>Saimiri boliviensis</i>	ボリビアリスザル	3	4	4	8	0	1
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	88	77	59	26	3	2
<i>Aotus trivirgatus</i>	ヨザル	72	71	40	41	5	7
Cebidae sp.		3	0	0	0	0	0
Atelidae	クモザル科	87	87	58	43	18	11
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	11	12	12	1	4	0
<i>Alouatta fusca</i>	カッシュクホエザル	1	1	1	0	2	0
<i>Alouatta seniculus</i>	アカホエザル	5	2	2	1	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		6	1	1	0	0	0
<i>Ateles belzebuth</i>	ケナガクモザル	3	6	3	2	2	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	20	30	19	27	4	4
<i>Ateles paniscus</i>	クロクモザル	12	17	8	0	3	1
<i>Ateles</i> sp.		14	0	0	0	0	0
<i>Lagothrix lagotricha</i>	コモンウーリーモンキー	13	17	10	12	3	6
<i>Lagothrix cana</i>	ハイイロウーリーモンキー	1	1	2	0	0	0
<i>Lagothrix</i> sp.		1	0	0	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	36	34	32	16	15	0
<i>Callicebus cupreus</i>	レッドティティ	2	1	2	0	2	0
<i>Callicebus donacophilus</i>	ドナコフィルスティティ	4	4	3	0	2	0
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	13	13	14	8	2	0
<i>Callicebus torquatus</i>	エリマキティティ	1	1	0	0	0	0
<i>Callicebus</i> sp.		2	1	1	0	1	0
<i>Cacajao calvus rubicundus</i>	アカウアカリ	3	2	1	0	2	0
<i>Chiropotes satanas</i>	ヒゲサキ	2	0	0	0	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	マンクサキ	5	6	5	0	4	0
<i>Pithecia pithecia</i>	シロガオサキ	4	6	6	8	2	0
Cercopithecidae	オナガザル科	2773	1895	1400	755	92	140
<i>Macaca arctoides</i>	ベニガオザル	10	12	7	5	0	0
<i>Macaca assamensis</i>	アッサムモンキー	5	6	4	1	0	0
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	63	62	50	26	2	2
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	653	284	174	123	1	70
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	683	504	379	186	11	18
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクニホンザル	392	290	197	106	3	2

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
<i>Macaca fuscata</i>	(ニホンザル)	10	1	1	0	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	9	11	5	1	1	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	143	117	108	17	0	0
<i>Macaca nemestrina</i>	ブタオザル	33	32	29	22	1	0
<i>Macaca nigra</i>	クロザル	9	7	7	0	0	0
<i>Macaca ochreata brunnescens</i>	ブトンモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	60	55	37	37	2	2
<i>Macaca silenus</i>	シシオザル	12	14	14	8	2	0
<i>Macaca sinica</i>	トクモンキー	8	10	8	11	0	1
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	13	16	13	8	2	2
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	3	3	3	1	0	0
<i>Macaca tonkeana</i>	トンケアンモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		2	1	0	0	3	0
<i>Macaca sp.</i>		94	0	0	0	0	0
<i>Cercocebus atys</i>	スーティマンガベイ	5	5	3	2	1	1
<i>Cercocebus atys lunulatus</i>	シロカンムリマンガベイ	7	9	8	5	2	1
<i>Cercocebus agilis</i>	アジルマンガベイ	2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus agilis chrysogaster</i>	ゴールデンマンガベイ	2	4	4	1	0	0
<i>Cercocebus torquatus torquatus</i>	シロエリマンガベイ	4	5	2	1	1	0
<i>Cercocebus hybrid</i>		2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus sp.</i>		3	0	0	0	0	0
<i>Lophocebus albigena</i>	ホオジロマンガベイ	2	2	1	0	2	0
<i>Mandrillus leucophaeus</i>	ドリル	12	12	3	5	3	1
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	15	11	9	14	1	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒヒ	54	41	32	49	1	1
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒヒ	17	15	6	0	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒヒ	5	4	5	16	0	1
<i>Papio papio</i>	ギニアヒヒ	6	6	6	0	0	0
<i>Papio sp.</i>		14	0	0	0	0	1
<i>Theropithecus gelada</i>	ゲラダヒヒ	5	5	2	2	1	0
<i>Allenopithecus nigroviridis</i>	アレンズモンキー	1	1	1	1	1	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	7	9	8	1	2	1
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	10	9	7	0	0	0
<i>Cercopithecus ascanius schmidtii</i>	シュミットグエノン	4	3	3	0	1	0
<i>Cercopithecus cephus</i>	クチヒゲグエノン	4	5	3	0	1	0
<i>Cercopithecus diana</i>	ダイアナモンキー	2	3	2	0	1	0
<i>Cercopithecus doggetti</i>	シルバーモンキー	2	1	0	0	1	0
<i>Cercopithecus hamlyni</i>	フクロウグエノン	1	3	2	0	2	1
<i>Cercopithecus lhoesti</i>	ロエストグエノン	3	5	5	1	1	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	カンムリグエノン	2	2	1	0	0	1
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	12	13	9	10	1	1
<i>Cercopithecus neglectus</i>	ブラッサグエノン	12	15	12	3	1	2
<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	バツティコファーグエノン	10	11	7	3	1	2
<i>Cercopithecus sp.</i>		3	1	1	0	0	1

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	16	10	7	5	4	0
<i>Chlorocebus pygerythrus cynosuros</i>	マルブラウクモンキー	0	1	1	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポワン	13	14	12	2	4	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスモンキー	124	80	66	21	2	5
<i>Cercopithecinae</i> sp.		21	0	0	0	0	0
<i>Colobus angolensis</i>	アンゴラコロブス	14	23	22	5	3	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	9	19	18	3	2	4
<i>Colobus polykomos</i>	キングコロブス	6	1	0	0	0	1
<i>Ptilocolobus badius</i>	アカコロブス	3	3	0	0	3	1
<i>Presbytis melalophos</i>	クロカンムリリーフモンキー	0	1	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンランゲール	48	51	36	17	4	11
<i>Trachypithecus cristatus</i>	シルバールトン	23	29	29	27	2	1
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	10	7	7	5	3	1
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	11	10	7	0	1	1
<i>Trachypithecus pileatus</i>	ボウシランゲール	6	7	4	2	3	0
<i>Trachypithecus vetulus</i>	カオムラサキランゲール	3	3	2	0	1	1
<i>Trachypithecus vetulus vetulus</i>	ニシカオムラサキランゲール	1	1	0	0	1	1
<i>Presbytis</i> sp.		4	0	0	0	0	0
<i>Nasalis larvatus</i>	テングザル	6	7	6	2	5	1
<i>Pygathrix nemaeus</i>	ドゥ克蘭ゲール	1	0	0	0	1	0
<i>Colobinae</i> sp.		1	1	0	0	0	0
<i>Cercopithecidae</i> sp.		19	0	0	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	81	49	38	9	12	17
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	9	8	6	2	2	0
<i>Hylobates klossii</i>	クロステナガザル	2	2	0	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	41	17	14	1	4	2
<i>Hylobates moloch</i>	ワウワウテナガザル	3	4	3	2	1	0
<i>Hylobates pileatus</i>	ボウシテナガザル	4	1	0	0	1	2
<i>Hylobates (moloch + lar)</i>		1	1	1	0	0	0
<i>Hylobates</i> sp.		8	0	0	0	0	13
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	2	2	2	0	0	0
<i>Nomascus concolor</i>	クロテナガザル	3	2	4	0	1	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	8	12	8	4	3	0
Hominidae	ヒト科	24	30	19	10	16	0
<i>Pongo pygmaeus</i>	ボルネオオランウータン	7	6	3	1	3	0
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	11	19	11	9	5	0
<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	ニシローランドゴリラ	6	3	3	0	6	0
<i>Gorilla beringei beringei</i>	マウンテンゴリラ	0	2	2	0	2	0
Primates 科不明	霊長目 科不明	1	0	0	0	0	0
misc. Primates		1	0	0	0	0	0
Scandentia	ツパイ目	24	21	10	2	5	5
<i>Dendrogale melanura</i>	ミナミホソオツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia glis</i>	コモンツパイ	10	13	8	2	1	5
<i>Tupaia gracilis</i>	ホソツパイ	1	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
<i>Tupaia minor</i>	ショウツパイ	1	0	0	0	0	0
Tupaiidae sp.		10	8	2	0	4	0
<i>Ptilocercus lowii</i>	ハネオツパイ	1	0	0	0	0	0
Other mammals	その他の哺乳類	217	2	0	0	0	0
Artidactyla	偶蹄目	80	0	0	0	0	0
Carnivora	食肉目	67	0	0	0	0	0
Chiroptera	翼手目	1	0	0	0	0	0
Diprodontia	双前歯目	18	0	0	0	0	0
Dermoptera	皮翼目	1	0	0	0	0	0
Lagomorpha	兔形目	4	0	0	0	0	0
Perissodactyla	奇蹄目	4	0	0	0	0	0
Pilosa	有毛目	1	0	0	0	0	0
Rodentia	齧歯目	31	2	0	0	0	0
Soricomorpha	トガリネズミ形目	10	0	0	0	0	0
Others	その他	27	0	0	2	6	0
Aves	鳥類	19	0	0	0	6	0
Reptilia	爬虫類	8	0	0	1	0	0
Actinopterygii	硬骨魚類	0	0	0	1	0	0
霊長類 計		4016	3093	2353	1439	243	229
霊長類以外 計		268	23	10	4	11	5
総計		4284	3116	2363	1443	254	234

2. 寄生虫標本

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	0	1	0	0
<i>Microcebus murinus</i>	チビネズミキツネザル	0	1	0	0
Galagidae	ギャラゴ科	5	3	0	1
<i>Galago senegalensis</i>	ショウギャラゴ	2	1	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオギャラゴ	3	2	0	1
Lorisidae	ロリス科	9	5	1	1
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スローロリス	6	4	1	1
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	0	1	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	0	1	0	0
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	0	1	0	0
Cebidae	オマキザル科	109	5	1	6
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルジモンキー	0	1	0	0
<i>Callithrix argentata</i>	シルバーマーモセット	4	0	0	1
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	3	0	0	0
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	45	0	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	2	0	0	0
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールデンライオンタマリン	0	0	0	2
<i>Saguinus fuscicollis</i>	サドルバックタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	2	0	0	0
<i>Saguinus leucopus</i>	シロアシタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	2	0	0	1
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	9	0	0	0
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	20	1	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシパンシェ	4	0	0	1
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	0	1	0	0
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	15	2	0	0
<i>Aotus trivirgatus</i>	ヨザル	1	0	0	0
Atelidae	クモザル科	11	3	0	1
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	0	2	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		0	1	0	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	1	0	0	0
<i>Ateles panisucus</i>	クロクモザル	8	0	0	1
<i>Lagothrix lagotricha</i>	コモンウーリーモンキー	2	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	2	2	0	0
<i>Callicebus cupreus</i>	レッドティティ	1	0	0	0
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	0	2	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	マンクサキ	1	0	0	0
Cercopithecidae	オナガザル科	243	14	11	8
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	5	1	0	0
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	51	1	8	3

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	76	7	0	0
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクニホンザル	33	2	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	26	1	0	2
<i>Macaca nemestrina</i>	ブタオザル	1	0	0	1
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	1	0	0	0
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	1	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		1	0	0	0
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	1	0	0	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒヒ	1	0	0	0
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒヒ	6	1	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒヒ	1	0	0	0
<i>Papio papio</i>	ギニアヒヒ	1	0	0	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	0	1	0	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	カンムリゲエノン	1	0	0	0
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	1	0	0	0
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	1	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	2	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスザル	24	0	1	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	0	0	1	0
<i>Piliocolobus badius</i>	アカコロブス	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	2	0	0	2
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	0	0	1	0
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	1	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	8	2	0	0
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	1	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	3	2	0	0
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	1	0	0	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	3	0	0	0
Hominidae	ヒト科	15	0	0	0
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	15	0	0	0
Scandentia	ツパイ目	4	0	0	0
Tupaiidae sp.		4	0	0	0
Others	その他	1	0	0	1
Aves	鳥類	1	0	0	1
霊長類 計		402	36	13	17
総計		407	36	13	18

3. 分野別民俗資料点数(猿二郎コレクション)

分類番号	種別	点数
00		
050	逐次刊行物	16
070	洋書	25
090	和書	9
200		
288.9	旗	1
300		
336.94	暖簾、看板	20
337.32	銀貨	1
337.4	補助貨幣(銅貨など)	1
348.6	紙幣	2
375.9	タバコ関係	23
380	教科書	7
383.3	風俗、習慣、民俗	24
383.55	アクセサリー、マスコット、根付	118
383.9	髪飾、小間物 (くし、こうがい、かんざし)	3
386	居住、民具	6
386.8	祭礼	2
387.1	信仰、民間信仰と迷信	199
400		
458	岩石	11
470	植物	13
470.8	菌類	7
489.9	霊長類	1
499.88	薬用植物	1
500		
524.86	出入口(窓、戸)	3
535.2	時計	2
545.28	電灯支持具、照明	4
545.5	灯具(行燈、提灯、ランプ)	3
573.38	タイル	5
576.4	蠟燭	1
581	金属製品	4
581.1	鋳物製品	32
581.7	刃物類(スプーン、 フォーク、ナイフ、鉄)	6
583	木製品	13
583.92	竹製品	3
583.94	蔓製品(藤、籐、あけび)	3
583.96	藁製品	2
583.97	縄製品	1

586.27	綿製品(たおる、てぬぐい)	14
586.37	麻製品	4
586.78	織機	1
588.38	飴菓子	5
588.39	雑菓子	5
588.55	果実酒(容器)	8
589.211	和服	5
589.215	子供服、Tシャツ	2
589.224	ネクタイ	5
589.225	ハンカチ	6
589.23	靴下、足袋	4
589.24	マフラー、ネッカチーフ	2
589.253	靴、スリッパ	1
589.27	ハンドバック、袋物(財布)	17
589.28	ボタン、タイピン、カフス	3
589.3	傘、扇、団扇	14
589.4	洋傘	1
589.49	杖、ステッキ	1
589.5	ブラシ	1
589.7	文房具、運動具、貯金箱	85
594.1	モール	4
596.5	厨房具、食器	48
597	住居、家具、調度	37
597.2	カーテン、簾、タペストリー	16
597.7	床飾、インテリア	2
599.8	絵本	3
600		
629.61	灯籠	9
674.7	宣伝広告用印刷物、新聞、 PR誌、シール、チラシ、 案内状、シオリ	117
674.71	千社札	43
674.72	ポスター	123
674.73	カレンダー	15
675.18	包装、ラベル、容器	39
688.181	マッチラベル	275
693.5	観光みやげ物	199
693.8	切手、葉書、スタンプ	220
699.67	ラジオ、テレビ、演劇、 娯楽	1
700		
711.9	仮面(郷土玩具を除く)	14
713	木彫	149
714	石彫	61

717	粘土彫刻、テラコッタ、蠟、石鹼	5
718.4	石仏、仏像	5
720	絵画	7
721.2	大和絵、絵巻物	23
721.3	水墨画	10
721.6	写生画	15
721.7	文人画、南画、俳画、色紙	63
721.8	浮世絵、錦絵、大津絵	48
724.8	ガラス絵	1
726.58	絵葉書	93
726.7	児童画	1
726.8	影絵（シュリエット）	1
728.8	書跡	8
729.3	墨	3
729.5	硯	7
729.6	文鎮	8
729.7	水差し	5
733	木版画、版木	26
739.1	印章材料	10
745	陽画（写真）	33
751.3	陶磁器（皿、絵皿）	405
751.31	灰皿	19
751.32	徳利、杯	15
751.33	急須、湯呑	17
751.4	埴輪、古瓦	16
751.5	ガラス工芸	17
751.9	プラスチック	43
752	漆工芸	1
753.7	刺繍	11
753.8	染物	1

754	木工芸	92
754.7	竹工芸	36
754.9	紙工芸（折り紙、せん紙、ペーパークラフト）	38
755.4	牙角細工	12
755.5	革細工	3
755.6	貝細工	6
756.14	鑄金	12
756.6	刀剣、鐔	4
756.7	甲冑	1
759	人形、玩具	308
759.9	郷土玩具、郷土人形	16
759.91	土人形、土笛、土面	493
759.92	首人形	14
759.93	土鈴、陶鈴、鈴	122
759.94	張り子	95
759.95	凧	5
759.96	張り子面、土面子	159
759.97	紙塑	5
759.98	練り物	6
759.99	木、竹、その他	159
774	歌舞伎	2
777.1	人形浄瑠璃	6
777.8	影絵芝居、ギニョール、マリオネット	30
791.5	茶器、菓子器	20
792.6	香合、香炉	14
793.5	花器	7
900		
909.3	童話	10
合計	4,723 点	

II 英文学術雑誌「PRIMATES」

PRIMATES 編集委員会 (平成 28 年 3 月 31 日時点)

編集長

松沢 哲郎 (京都大学、日本モンキーセンター)

編集委員

James R. Anderson	(京都大学)
Fred Bercovitch	(京都大学)
Warren Y. Brockelman	(Mahidol University, タイ)
Susana Carvalho	(University of Oxford, イギリス)
古市 剛史	(京都大学)
半谷 吾郎	(京都大学)
Alexander H. Harcourt	(University of California, Davis, アメリカ)
Brian Hare	(Duke University, アメリカ)
Eckhard W. Heymann	(German Primate Center, ドイツ)
平田 聡	(京都大学)
Michael A. Huffman	(京都大学)
村山 美穂	(京都大学)
石田 貴文	(東京大学)
Patrícia Izar	(University of São Paulo, ブラジル)
川本 芳	(京都大学)
河村 正二	(東京大学)
Phyllis Lee	(University of Stirling, イギリス)
William C. McGrew	(University of Cambridge, イギリス)
John C. Mitani	(University of Michigan, アメリカ)
中川 尚史	(京都大学)
中道 正之	(大阪大学)
中村 美知夫	(京都大学)
中村 紳一朗	(滋賀医科大学)
中務 真人	(京都大学)
清水 慶子	(岡山理科大学)
David S. Sprague	(農業・食品産業技術総合研究機構)
Karen B. Strier	(University of Wisconsin, Madison, アメリカ)
高畑 由起夫	(関西学院大学)
Peter S. Ungar	(University of Arkansas, アメリカ)
Linda Vigilant	(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)
山極 壽一	(京都大学、日本モンキーセンター)

アドバイザーボード

Kim A. Bard	(University of Portsmouth, イギリス)
Josep Call	(University of St. Andrews, イギリス)
Júlio César Bicca-Marques	(Pontifical Catholic University of Rio Grande do Sul, ブラジル)
Mukesh K. Chalise	(Tribhuvan University, ネパール)
Frans B. M. de Waal	(Emory University, アメリカ)
Dorothy M. Fragaszy	(University of Georgia, アメリカ)
藤田 志歩	(鹿児島大学)
Gottfried Hohmann	(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)
William D. Hopkins	(Yerkes Regional Primate Research Center, アメリカ)
五百部 裕	(嵯山女学園大学)
井上 英治	(東邦大学)
Charles Janson	(University of Montana, アメリカ)
Andreas Koenig	(Stony Brook University, アメリカ)
Amanda Korstjens	(Bournemouth University, イギリス)
沓掛 展之	(総合研究大学院大学)
松田 一希	(京都大学)
松本 晶子	(琉球大学)
Katharine Milton	(University of California, Berkeley, アメリカ)
室山 泰之	(東洋大学)
John F. Oates	(City University of New York, アメリカ)
荻原 直道	(慶應義塾大学)
岡本 宗裕	(京都大学)
Elisabetta Palagi	(University of Pisa, イタリア)
Ryne A. Palombit	(Rutgers University, アメリカ)
Mary S. M. Pavelka	(University of Calgary, カナダ)
Andrew J. Plumptre	(Wildlife Conservation Society, アメリカ)
Martha M. Robbins	(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)
Crickette Sanz	(Washington University in St. Louis, アメリカ)
Gabriele Schino	(Institute of Cognitive Sciences and Technologies, CNR, イタリア)
Robert M. Seyfarth	(University of Pennsylvania, アメリカ)
下岡 ゆき子	(帝京科学大学)
Pascale Sicotte	(University of Calgary, カナダ)
Joan Silk	(Arizona State University, アメリカ)
David Glenn Smith	(University of California, Davis, アメリカ)
Charles T. Snowdon	(University of Wisconsin, Madison, アメリカ)
Joseph M. Soltis	(Disney's Animal Kingdom, アメリカ)
Volker Sommer	(University College London, イギリス)
Craig B. Stanford	(University of Southern California, アメリカ)
杉浦 秀紀	(京都大学)
高井 正成	(京都大学)
竹ノ下 佑二	(中部学院大学)
田中 伊知郎	(四日市大学)

田中 正之	(京都市動物園)
友永 雅己	(京都大学)
辻 大和	(京都大学)
David Watts	(Yale University, アメリカ)
山越 言	(京都大学)
山本 真也	(神戸大学)

CONTENTS

Volume 56, Number 2, April 2015

Editorial

Tetsuro Matsuzawa: Seventy years after the end of World War II. pp.105-106

News and Perspectives

William C. McGrew: Snakes as hazards: modelling risk by chasing chimpanzees. pp.107-111

Gaku Ohashi: Pestle-pounding and nut-cracking by wild chimpanzees at Kpala, Liberia. pp.113-117

Valeska Martins, Óscar M. Chaves, Mariana Beal Neves, Júlio César Bucca-Marques: Parturition and potential infanticide in free-ranging *Alouatta guariba clamitans*. pp.119-125

Charlie J. Gardner, Patrick Radolalaina, Mahandry Rajerison, Harry W. Greene: Cooperative rescue and predator fatality involving a group-living strepsirrhine, Coquerel's sifaka (*Propithecus coquereli*), and a Madagascar ground boa (*Acrantophis madagascariensis*). pp. 127-129.

Review Article

Ricardo Sampaio, Fábio Röhe, Gabriela Pinho, José de Sousa e Silva-Júnior, Izeni Pires Farias, Anthony B. Rylands: Re-description and assessment of the taxonomic status of *Saguinus fuscicollis cruzlimai* Hershkovitz, 1966 (Primates, Callitrichinae). pp.131-144

Original Article

Manuel Ruiz-García, Kelly Luengas-Villamil, Norberto Leguizamon, Benoit de Thoisy, Hugo Gálvez: Molecular phylogenetics and phylogeography of all the *Saimiri* taxa (Cebidae, Primates) inferred from *mt COI* and *COII* gene sequences. pp.145-161

David P. Watts: Mating behavior of adolescent male chimpanzees (*Pan troglodytes*) at Ngogo, Kibale National Park, Uganda. pp.163-172

Sara Alvarez, Anthony Di Fiore, Jane Champion, Mary Susan Pavelka, Johanna Páez, Andrés Link: Male-directed infanticide in spider monkeys (*Ateles* spp.). pp.173-181

Noah Thomas Dunham: Ontogeny of positional behavior and support use among *Colobus angolensis palliatus* of the Diani Forest, Kenya. pp.183-192

Yena Kim, Laura Martinez, Jae Chun Choe, Dal-Ju Lee, Masaki Tomonaga: Orangutans (*Pongo* spp.) do not spontaneously share benefits with familiar conspecifics in a choice paradigm. pp.193-200

Marie Pelé, Odile Petit: Equal care for own versus adopted infant in tufted capuchins (*Sapajus* spp.). pp.201-206

Volume 56, Number 3, July 2015

Editorial

Tetsuro Matsuzawa: Sumatran orangutans and the World War II. pp.207-209

News and Perspectives

Michael Haslam, Tiago Falótico: Nasal probe and toothpick tool use by a wild female bearded capuchin (*Sapajus libidinosus*). pp.211-214

Review Article

Peng Zhang: Good gibbons and evil macaques: a historical review on cognitive features of non-human primates in Chinese traditional culture. pp.215-225

Original Article

Andrea Sanna, Arianna De Marco, Bernard Thierry, Roberto Cozzolino: Growth rates in a captive population of Tonkean macaques. pp.227-233

Shuji Takabayashi, Hideki Katoh: Noninvasive genotyping of common marmoset (*Callithrix jacchus*) by fingernail PCR. pp.235-240

Rachna B. Reddy, Evan L. MacLean, Aaron A. Sandel, Brian Hare: Social inhibitory control in five lemur species. pp.241-252

Gabriele Schino, Alessandro Alessandrini: Short-term costs and benefits of grooming in Japanese macaques. pp.253-257

Nicolaas H. Fourie, Clifford J. Jolly, Jane E. Phillips-Conroy, Janine L. Brown, Robin M. Bernstein: Variation of hair cortisol concentrations among wild populations of two baboon species (*Papio anubis*, *P. hamadryas*) and a population of their natural hybrids. pp.259-272

Jenna Kulp, Eckhard W. Heymann: Ranging, activity budget, and diet composition of red titi monkeys (*Callicebus cupreus*) in primary forest and forest edge. pp.273-278

Lucie Weiss, Pavel Brandl, Daniel Frynta: Fear reactions to snakes in naïve mouse lemurs and pig-tailed macaques. pp.279-284

Volume 56, Number 4, October 2015

Editorial

Tetsuro Matsuzawa: Sweet-potato washing revisited: 50th anniversary of the *Primates* article. pp.285-287

News and Perspectives

Jan A. R. A. M. van Hooff, Bas Lukkenaar: Captive chimpanzee takes down a drone: tool use toward a flying object. pp.289-292

Benjamin J. W. Buckley, Rosalie J. Dench, Helen C. Morrogh-Bernard, Unyil Bustani, David J. Chivers: Meat-eating by a wild Bornean orang-utan (*Pongo pygmaeus*). pp.293-299

Chie Hashimoto, Mina Isaji, Kathelijne Koops, Takeshi Furuichi: First records of tool-set use for ant-dipping by Eastern chimpanzees (*Pan troglodytes schweinfurthii*) in the Kalinzu Forest Reserve, Uganda. pp.301-305

Charlie J. Gardner, Louise D. Jasper: Discovery of an island population of dwarf lemurs (Cheirogaleidae: *Cheirogaleus*) on Nosy Hara, far northern Madagascar. pp.307-310

Ben Garrod, Alice M. Roberts, Corinne Duhig, Debby Cox, William McGrew: Burial, excavation, and preparation of primate skeletal material for morphological study. pp.311-316

Review Article

James R. Anderson, Gordon G. Gallup Jr.: Mirror self-recognition: a review and critique of attempts to promote and engineer self-recognition in primates. pp.317-326

Original Article

Kazuo Wada, Baoguo Li, Kunio Watanabe: Affiliative interactions between one-male units in a band of Sichuan snub-nosed monkeys (*Rhinopithecus roxellana*) living in the Qinling Mountains, China. pp.327-337

Victor Narat, Flora Pennec, Bruno Simmen, Jean Christophe Bokika Ngawolo, Sabrina Krief: Bonobo habituation in a forest–savanna mosaic habitat: influence of ape species, habitat type, and sociocultural context. pp.339-349

Qingyong Ni, Meng Xie, Cyril C. Grueter, Xuelong Jiang, Huailiang Xu, Yongfang Yao, Mingwang Zhang, Yan Li, Jiandong Yang: Effects of food availability and climate on activity patterns of western black-crested gibbons in an isolated forest fragment in southern Yunnan, China. pp.351-363

Nicolaas H. Fourie, Trudy R. Turner, Janine L. Brown, James D. Pampush, Joseph G. Lorenz, Robin M. Bernstein: Variation in vervet (*Chlorocebus aethiops*) hair cortisol concentrations reflects ecological disturbance by humans. pp.365-373

Book Review

Crystal M. Riley: Anne E. Russon, Janette Wallis (eds): Primate tourism: a tool for conservation? pp.375-376

Announcement The *Primates* 2015 Most-Cited Paper Award is conferred upon Dr. Goro Hanya et al. pp.377

Acknowledgement pp.379-380

Books received pp.381

Volume 57, Number1, January 2016

Including Special Features on “Understanding the Variability of Gorilla Social Structure” and “Research and Conservation of Orangutans (*Pongo* sp.) in Malaysia”

Editorial

Tetsuro Matsuzawa: SAGA and GAIN for great apes. pp.1-2

News and Perspectives

Takuya Matsumoto, Noriko Itoh, Sana Inoue, Michio Nakamura: An observation of a severely disabled infant chimpanzee in the wild and her interactions with her mother. pp.3-7

Ariadna Rangel Negrín, Alejandro Coyohua Fuentes, Domingo Canales Espinosa, Pedro Américo Duarte Dias: The loss of behavioral diversity as a consequence of anthropogenic habitat disturbance: the social interactions of black howler monkeys. pp.9-15

Special Feature: Original Article

S. Rosenbaum, A. A. Maldonado-Chaparro, T. S. Stoinski: Group structure predicts variation in proximity relationships between male–female and male–infant pairs of mountain gorillas (*Gorilla beringei beringei*). pp.17-28

Thomas Breuer, Andrew M. Robbins, Martha M. Robbins: Sexual coercion and courtship by male western gorillas. pp.29-38

Lim Tze Tshen: Biogeographic distribution and metric dental variation of fossil and living orangutans (*Pongo* spp.). pp.39-50

Kodzue Kinoshita, Noko Kuze, Toshio Kobayashi, Etsuko Miyakawa, Hiromitsu Narita, Miho Inoue-Murayama, Gen'ichi Idani, Roumiana Tsenkova: Detection of urinary estrogen conjugates and creatinine using near infrared spectroscopy in Bornean orangutans (*Pongo Pygmaeus*). pp.51-59

Original Article

David P. Watts: Production of grooming-associated sounds by chimpanzees (*Pan troglodytes*) at Ngogo: variation, social learning, and possible functions. pp.61-72

Marine Levé, Cédric Sueur, Odile Petit, Tetsuro Matsuzawa, Satoshi Hirata: Social grooming network in captive chimpanzees: does the wild or captive origin of group members affect sociality? pp.73-82

Chuangbin Tang, Libin Huang, Zhonghao Huang, Ali Krzton, Changhu Lu, Qihai Zhou: Forest seasonality shapes diet of limestone-living rhesus macaques at Nonggang, China. pp.83-92

Janya Jadejaroen, Yoshi Kawamoto, Yuzuru Hamada, Suchinda Malaivijitnond: An SNP marker at the STAT6 locus can identify the hybrids between rhesus (*Macaca mulatta*) and long-tailed macaques (*M. fascicularis*) in Thailand: a rapid and simple screening method and its application. pp.93-102

Andrea Spence-Aizenberg, Anthony Di Fiore, Eduardo Fernandez-Duque: Social monogamy, male–female relationships, and biparental care in wild titi monkeys (*Callicebus discolor*). pp.103-112

Clara Corat, José Siqueira, Eduardo B. Ottoni: Sequential organization and optimization of the nut-cracking behavior of semi-free tufted capuchin monkeys (*Sapajus* sp.). pp.113-121.

Danilo Simonini Teixeira, Edmilson dos Santos, Silvana Gomes Leal, Andrea Karla de Jesus, Waldemir Paixão Vargas, Irapuan Dutra, Marilia Barros: Fatal attack on black-tufted-ear marmosets (*Callithrix penicillata*) by a Boa constrictor: a simultaneous assault on two juvenile monkeys. pp.123-127

Zachary Yu-Ching Lin, Orie Hikabe, Sadafumi Suzuki, Takamasa Hirano, Haruhiko Siomi, Erika Sasaki, Masanori Imamura, Hideyuki Okano: Sphere-formation culture of testicular germ cells in the common marmoset, a small New World monkey. pp.129-135

III 飼育動物一覧

1. サル類

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	54	26	27	1
エリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	6	2	4	0
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	2	0	2	0
ブラウンキツネザル	<i>Eulemur fulvus</i>	2	1	1	0
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	21	12	9	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	5	4	1	0
ショウギャラゴ	<i>Galago senegalensis</i>	1	1	0	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	10	6	2	2
クロミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	16	10	3	3
シロガオマーモセット	<i>Callithrix geoffroyi</i>	2	0	2	0
サンタレムマーモセット	<i>Callithrix humeralifera</i>	1	1	0	0
ピグミーマーモセット	<i>Cebuella pygmaea</i>	5	3	2	0
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	10	5	5	0
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	1	0	1	0
ワタボウシパンシェ	<i>Saguinus oedipus</i>	3	1	1	1
ヨザル	<i>Aotus trivirgatus</i>	14	5	8	1
ダスキーティティ	<i>Callicebus moloch</i>	1	1	0	0
シロガオサキ	<i>Pithecia pithecia</i>	1	1	0	0
クロヒゲサキ	<i>Chiropotes satanas</i>	3	1	2	0
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	6	2	3	1
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	5	3	2	0
フサオマキザル	<i>Cebus apella</i>	25	10	12	3
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	26	11	15	0
クロクモザル	<i>Ateles paniscus</i>	2	1	1	0
ケナグクモザル	<i>Ateles belzebuth</i>	8	5	3	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	8	3	5	0
コモンウーリーモンキー	<i>Lagothrix lagotrica</i>	5	3	2	0
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	19	10	9	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	31	11	19	1
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	14	6	8	0
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	8	3	5	0
ブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	15	6	9	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	100	39	61	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	5	1	4	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	5	4	1	0
ベニガオザル	<i>Macaca arctoides</i>	1	1	0	0
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	7	2	5	0
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	124	54	70	0

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ヤクニホンザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	157	80	76	1
ゴールデンマンガベイ	<i>Cercocebus agilis chrysogaster</i>	1	1	0	0
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	85	32	52	1
ギニアヒヒ	<i>Papio papio</i>	1	1	0	0
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	7	4	3	0
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	14	7	7	0
クチヒゲグエノン	<i>Cercopithecus cephus</i>	1	0	1	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus mitis alboglaris</i>	1	0	1	0
ブラッサグエノン	<i>Cercopithecus neglectus</i>	2	1	1	0
シュミットグエノン	<i>Cercopithecus ascanius schmidtii</i>	5	0	5	0
バッティコファークエノン	<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	1	0	1	0
マルブラウクモンキー	<i>Chlorocebus pygerythrus cynosuros</i>	2	0	2	0
サバンナモンキー	<i>Chlorocebus aethiops</i>	9	4	5	0
タラポアン	<i>Miopithecus talapoin</i>	4	2	2	0
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	9	4	4	1
ハヌマンラングール	<i>Semnopithecus entellus</i>	2	1	1	0
シルバールトン	<i>Trachypithecus cristatus</i>	2	2	0	0
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	3	1	2	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	6	2	3	1
アンゴラコロブス	<i>Colobus angolensis</i>	1	1	0	0
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	8	6	2	0
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	5	3	2	0
アジルテナガザル	<i>Hylobates agilis</i>	2	0	2	0
ミューラーテナガザル	<i>Hylobates muelleri</i>	1	0	1	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	11	6	5	0
ニシゴリラ	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	1	1	0	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	8	5	3	0
計		920	418	485	17

2. その他動物

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ウサギ	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	6	3	3	0
ジャンガリアンハムスター	<i>Phodopus sungorus</i>	1	0	1	0
デグー	<i>Octodon degus</i>	14	6	8	0
モルモット	<i>Cavia porcellus</i>	11	0	11	0
カイロキンイロトゲマウス	<i>Acomys cahirinus</i>	8	1	3	4
イヌ	<i>Canis familiaris</i>	2	0	2	0
シバヤギ	<i>Capra hircus</i>	2	1	1	0
ケヅメリクガメ	<i>Geochelone sulcata</i>	2	2	0	0
スピングラーヤマガメ	<i>Geoemyda spengleri</i>	2	1	1	9
パンケーキリクガメ	<i>Malacochersus tomieri</i>	1	0	1	0
ヒョウモンガメ	<i>Stigmochelys pardalis</i>	1	0	1	0
ホウシャガメ	<i>Astrochelys radiata</i>	2	0	2	0
ミツユビハコガメ	<i>Terrapene carolina triunguis</i>	1	0	1	0
グリーンイグアナ	<i>Iguana iguana</i>	1	1	0	0
ヒョウモンカゲモドキ	<i>Eublepharis macularius</i>	2	1	1	0
オオアオジタカゲ	<i>Tiliqua gigas</i>	1	0	1	0
アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	47	0	0	33
ブラックピラニア	<i>Serrasalmus rhombeus</i>	1	0	0	1
デンキウナギ	<i>Electrophorus electricus</i>	1	0	0	1
レッドコロソマ	<i>Piaractus brachypomum</i>	1	0	0	1
マダガスカルオオゴキブリ	<i>Gromphadorrhina portentosa</i>	67	3	2	62
ダイオウサソリ	<i>Pandinus imperator</i>	2	0	0	2
チリアンコモン	<i>Grammostola rosea</i>	1	0	0	1
総 計		163	19	39	105

IV ブリーディングローン動物一覧

1. 貸付動物

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

種名	個体数	出園日 / 出生日	現飼育施設
ボルネオオランウータン <i>Pongo pygmaeus</i>	オス 1	1988 年 2 月 9 日 (横浜市野毛山動物園で出生)	千葉市動物公園
コモンウーリーモンキー <i>Lagothrix lagotricha</i>	オス 1	1998 年 1 月 7 日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
コモンウーリーモンキー <i>Lagothrix lagotricha</i>	オス 1	1999 年 2 月 18 日 (横浜市立よこはま動物園で出生)	横浜市立よこはま動物園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	メス 1	2005 年 11 月 12 日 (出園)	東武動物公園
チベットモンキー <i>Macaca thibetana</i>	オス 1	2011 年 10 月 20 日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2003 年 5 月 4 日 (広島市安佐動物公園にて出生)	神戸市立王子動物園
ピグミーマーモセット <i>Cebuella pygmaea</i>	メス 1	2013 年 3 月 14 日 (出園)	静岡市立日本平動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2 メス 3	2014 年 7 月 23 日 (出園)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 7 メス 4	2014 年 10 月 21 日 (出園)	神戸どうぶつ王国
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2014 年 10 月 23 日 (神戸市立王子動物園で出生)	神戸市立王子動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2014 年 11 月 16 日 (出園)	熊本市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
ボリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
フサオマキザル <i>Cebus apella</i>	メス 3	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
アビシニアコロブス <i>Colobus guereza</i>	メス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015 年 6 月 23 日 (出園)	おびひろ動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2015 年 6 月 23 日 (出園)	札幌市円山動物園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	オス 1	2015 年 10 月 13 日 (出園)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 10	2015 年 10 月 19 日 (出園)	NIFREL

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015 年 11 月 24 日 (出園)	浜松市動物園
シロガオマーモセット <i>Callithrix geoffroyi</i>	メス 1	2016 年 3 月 3 日 (出園)	静岡市立日本平動物園
アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2016 年 3 月 29 日 (出園)	市川市動物園
ピグミーマーモセット <i>Cebuella pygmaea</i>	メス 1	2016 年 3 月 31 日 (出園)	千葉市動物公園

2. 借受動物

種名	個体数	来園日	来園元
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス 1	1994 年 5 月 19 日	横浜市立野毛山動物園 (帰属は横浜市立よこはま動物園)
ポト <i>Perodicticus potto</i>	メス 1	2009 年 2 月 10 日	那須ワールドモンキーパーク
クロクモザル <i>Ateles paniscus</i>	メス 1	2010 年 12 月 16 日	愛媛県立とべ動物園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	オス 1	2010 年 10 月 30 日	到津の森公園 (帰属は西山動物園)
クロヒゲサキ <i>Chiropotes satanus</i>	メス 1	2013 年 3 月 14 日	名古屋市東山動物園
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2013 年 6 月 6 日	豊橋市総合動植物公園

V 動物の異動

1. 出産

種名	学名	出産	現存	死亡	繁殖区分
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	5	3	2	自然 3、人工 1
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	3	3	0	自然
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	2	0	2	自然
ワタボウシパンシェ	<i>Saguinus oedipus</i>	3	1	2	自然 1、人工 2
フサオマキザル	<i>Cebus apella</i>	5	4	1	自然
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capcinus</i>	2	1	1	自然
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	2	1	1	自然
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	1	0	1	人工
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	3	2	1	自然
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	2	1	1	自然
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	3	3	0	自然
ヤクニホンザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	20	13	7	自然
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	15	7	8	自然
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	4	2	2	自然
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	1	1	0	自然
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	2	2	0	自然
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	1	0	1	自然
計 17 種		74	44	30	

2. 動物の死亡原因（サル類・その他動物の総計）

区分	飼育動物数		死亡動物数									飼育動物に 対する%
	年度末飼育頭数	年間死亡数	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	外傷	寄生虫症	感染症	神経系	その他	計	
哺乳類	964	73	15	5	2	12	0	0	1	38	73	7.0
鳥類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
爬虫類	13	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7.1
両生類												
	977	74	15	5	3	12	0	0	1	38	74	7.0

*飼育動物に対する%＝年間死亡数÷（年度末飼育頭数＋年間死亡数）×100

3. 長年飼育動物（平成 28 年 3 月 31 日現在）

種 名	性別	年齢	飼育年数	摘要
ケナガクモザル <i>Ateles belzebuth</i>	メス		41 年 9 ヶ月	1974/6/27 入園
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	メス	34	34 年 11 ヶ月	1981/4/21 生
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス		46 年	1969 年推定 2 歳で日本平へ入園 1994/5/19 モンキーセンターへ移入

平成 27 年度事業報告書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を捕捉する重要な事項」はありません。

平成 28 年 5 月
公益財団法人日本モンキーセンター